



第2次寒川 学びプラン

令和6年度事業報告及び 実施計画期間(令和3～6年度)の事業実施状況の評価報告書 (案)

ともに学び・ともに支えあう
自己実現と協働のまち・さむかわ



目次

1.「第2次寒川 学びプラン」の評価について	1
2.「第2次寒川 学びプラン」令和6年度事業報告	2
(1)事業実施状況の概要	2
3.「第2次寒川 学びプラン」令和6年度事業実績及び実施計画期間における事業実績	3
【基本目標 1_学ぶ】いつでも、どこでも、だれでも学べる 生涯学習	
【施策の方向1】自主的・自発的な学習の支援(No.1～3)	3
【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実(No.4～18)	4
【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応(No.19～29)	10
【施策の方向4】学習環境の充実(No.30～44)※	14
【基本目標 2_活かす】学んだことを活かせる 生涯学習	
【施策の方向1】学習成果を発表する機会の充実(No.45～46)	19
【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実(No.47～52)	20
【基本目標 3_つながる】学びでつながる生涯学習	
【施策の方向1】まちづくりにつながる学習機会の充実(No.53～55)	22
【施策の方向2】まちづくりにつながる活動の支援(No.56～65)	23
※事業担当課共通の実績報告(No.38～42)	26
【「第2次寒川 学びプラン」令和6年度事業報告の外部評価】	28
4.「第2次寒川 学びプラン」実施計画(令和3年度～令和6年度)事業実施状況	29
(1)各年度の目標達成状況	29
(2)実施計画期間(4年間)の目標達成度評価状況	31
(3)実施計画期間における進行管理及び事業実績に係る外部評価	32

1.「第2次寒川 学びプラン」の評価について

これまで町では、平成6年に策定した「さむかわいきいき学習ライフ21プラン」、平成18年に策定した「寒川 学びプラン」、令和3年に策定した「第2次寒川 学びプラン」により、生涯学習推進のための各種施策に取り組んできました。本計画は、町の最上位計画である「寒川町総合計画2040」の将来像「つながる力で 新化するまち」の実現に向け、生涯学習の視点からまちづくりをすすめるため、生涯学習施策の基本的な考え方や方向性を示した個別計画です。「寒川町総合計画2040」との整合性を図るとともに、関連個別計画等と連携した取組を進めてまいりました。

本計画は、「ともに学び・ともに支えあう 自己実現と協働のまち・さむかわ」を基本理念として、町民のだれもが、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学び、生きがいのある充実した生活を送るとともに人と人とのつながりや支え合いのなかで、学んだことを活かすことにより、地域の活性化につなげていけることを目指してまいりました。しかしながら、社会を取り巻く状況は、人口減少、少子高齢化、急速な技術革新や雇用形態の変化に加え、ライフスタイルや価値観の多様化等により大きく変化しており、また「人生100年時代」の到来を踏まえ、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を個人の生活や地域での活動等に生かすことのできる「生涯学習社会」の実現が求められています。

計画の期間は、「寒川町総合計画2040」の第1次実施計画に合わせた令和3年度から令和6年度までの4年間でありましたが、令和2年の新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、計画期間において事業の休止、見直しなどが相次ぎました。本計画で当初設定した目標数値の達成が困難な事業も見受けられました。

計画の進行管理については、実施計画に位置付けられた事業について、毎年進捗状況調査を行い、各事業担当課の自己評価を基に外部の有識者による審議会において、町民の生涯学習の推進が図られたか評価を行いました。

なお、計画を所管する担当課が令和7年度に学び推進課から生涯学習課へ組織が変更したことに伴い、外部評価を行う審議会は令和3年度から5年度までの事業実績評価は寒川町生涯学習推進会議、令和6年度事業実績評価及び計画期間の総括評価は寒川町社会教育委員会で行いました。

「第2次寒川 学びプラン」の実施計画期間の実績についてまとめたものがこの評価報告書となります。

2.「第2次寒川 学びプラン」令和6年度事業報告

(1)事業実施状況の概要

【評価目的】 「第2次寒川 学びプラン」に掲げた65事業の進捗状況を把握し、その評価を行うことにより、計画の着実な推進と実効性を確保し、「第2次寒川 学びプラン」の基本理念である「ともに学び・ともに支え合う自己実現と協働のまち・さむかわ」の実現に向け、生涯学習振興を推進する。

【評価項目】 令和6年度事業の実施状況の評価

【評価方法】 事業実施課が令和6年度事業の評価を目標数値に対する実績値の割合により、次の区分で評価する。

【令和6年度の評価】

- A: 目標数値に対して90%以上
- B: 目標数値に対して70%以上90%未満
- C: 目標数値に対して70%未満
- D: 事業を実施できなかった

【評価の結果】

基本目標	施策の方向	事業番号	事業数	A	B	C	D	
1 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる 生涯学習	1 自主的・自発的な学習の支援	1～3	3	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	
	2 ライフステージに応じた学習機会の充実	4～18	15	12 事業 80.0 %	2 事業 13.3 %	1 事業 6.7 %	0 事業 0.0 %	
	3 学習ニーズ・現代的課題への対応	19～29	11	8 事業 72.7 %	1 事業 9.1 %	2 事業 18.2 %	0 事業 0.0 %	
	4 学習環境の充実	30～44	15	7 事業 46.7 %	2 事業 13.3 %	5 事業 33.3 %	1 事業 6.7 %	
	2 「活かす」 学んだことを活かせる 生涯学習	1 学習成果を発表する機会の充実	45～46	2	1 事業 50.0 %	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
		2 学習成果を地域で活かす機会の充実	47～52	6	3 事業 50.0 %	2 事業 33.3 %	0 事業 0.0 %	1 事業 16.7 %
	3 「つながる」 学びでつながる生涯学習	1 まちづくりにつながる学習機会の充実	53～55	3	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
		2 まちづくりにつながる活動の支援	56～65	10	5 事業 50.0 %	2 事業 20.0 %	3 事業 30.0 %	0 事業 0.0 %
合 計			65	42 事業 64.6 %	10 事業 15.4 %	11 事業 16.9 %	2 事業 3.1 %	

3.「第2次寒川 学びプラン」令和6年度事業実績及び実施計画期間における事業実績

【基本目標1】「学ぶ」いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向1】自主的・自発的な学習の支援

【施策1】学習情報の提供・学習相談機能の充実

NO	事業名 事業内容	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
			6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
1	生涯学習関連事業 の情報提供	各課等で行われる年間の講座、 イベント等の情報をとりまとめた 「さむかわ町民大学・さむかわゆ ゆう学園ガイド」を年2回(上半 期、下半期)発行する。	「さむかわ町民大学・さむかわゆ ゆう学園ガイド」を年2回(上半 期、下半期)発行し、町や関係 機関が主催する講座やイベント の情報提供を行った。また、町 ホームページへの掲載や公共 施設に配架を行った。	各課等で行 われる年間 の講座、教 室等の総事 業数(件)	190	190	190	190	A	町の生涯学習関連事業をとりまとめた情報 誌を定期的に発行することで、町民の自主 的・自発的な学習支援や学習機会の提供を 行った。総事業数は目標数値を達成するこ とができた。	A	各課等が行っている講座・教室 等の情報を取りまとめ、町民に 対して継続的に情報提供を行 い、計画期間中は目標値の 90%以上の実績を残すことが できた。	学び推進課
	183				190	181	199						
2	広報活動事業	広報紙、町ホームページ、メー ル配信サービス、広報板、X、 LINE、テレビ放送、エフエム放 送、報道機関など様々な媒体を 活用し、生涯学習の推進に資す る情報提供を行います。	町の施策や事業などの情報を、 次の媒体を活用して提供した。 【活用媒体】 ①広報紙 ②町ホームページ ③便利ガイド ④メール配信サービス ⑤広報板 ⑥Twitter ⑦Facebook ⑧Instagram ⑨LINE@ ⑩マチイロ(i広報紙) ⑪マイ広報紙 ⑫新聞・タウン紙 ⑬J:COM ⑭YouTube ⑮コミュニティ放送(レディオ湘 南・さむらじ) ⑯デジタルサイネージ ⑰正面玄関モニター ⑱Prtimes	情報提供を 行う媒体数 (件)	17	17	17	17	A	令和6年7月にLINEのプッシュ通知におい て、見やすさを向上させるためにリッチメッ セージの書式を変更するリニューアルを行っ た。	A	▼様々な媒体を活用し情報発信 に努めるとともに、次のようなり ニューアル等も実施した。 ▼利用者が必要な情報に容易 にアクセスできるよう町ホーム ページや広報紙のリニューアル を行った。 ▼新たな情報提供媒体として、 プレスリリースサイトである 「PRtimes」の利用を開始した。 ▼LINEのプッシュ通知について リニューアルを図った。	広報戦略課
	18				18	18	18						
3	生涯学習情報紙の 発行及び相談体制 の充実	・町内の子ども向けの講座やイ ベント等を掲載する情報紙「す きっぷ」を年4回(7月、10月、12 月、3月)発行する。 ・町が実施する生涯学習事業を 紹介する「さむかわ生涯学習総 合案内」を年1回発行する。	▼「すきっぷ」を年4回発行し、 町内の幼稚園、保育園、小学校 に通う全児童に配布した。 ▼町が行う生涯学習事業を集 約した「さむかわ生涯学習総 案内」を年1回発行し、情報提供 を行った。	生涯学習情 報紙の年間 発行回数 (回)	5	5	5	5	A	「すきっぷ」を定期的に紙面で発行し続ける ことで、子どものための生涯学習情報紙と して定着することができた。令和5年度より紙 面をカラー化したが、令和6年度はさらに紙 面デザインも変更し、見やすくなるよう工夫 を行った。 「すきっぷ」は、子どもたちが講座や教室、イ ベント等へ参加するきっかけとなっており、今 後も子どもたちの目を引く親しみのある紙面 づくりを続けていく。	A	「すきっぷ」は年4回発行し、町 内の幼稚園、保育園、小学校に 通う児童全員に配布すること で、子ども向けの生涯学習情報 媒体として定着している。講座等 を主催する所管課や公民館から 周知効果が高く、集客につな がっているとの意見も寄せられ ており、有効な情報媒体となっ ている。カラー印刷化や紙面デザ インを見直し、より見やすいよ うに工夫を行った。	学び推進課
	5				5	5	5						

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策1】乳幼児期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
			6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
4	乳幼児を対象とした 公民館事業	【町民センター】ママとベビーの ふれあい体操 【北部公民館】おはなし図書館、 七夕飾り作り教室 【南部公民館】おはなし広場、親 子でクラフト教室、親子リトミック 教室 【総合図書館】おひざにだっこ のおはなし会、出張わらべうた会	【町民センター】1事業2回・延べ 18人参加 ママとベビーのふれあい体操 【北部公民館】4事業7回・延べ 149人参加 おはなし図書館、夏休みおはな し図書館、バルーンで遊ぼう、親 子サロン 【南部公民館】6事業30回・延べ 615人参加 親子でクラフト教室、おはなし広 場、親子ミニ運動会、親子でリ トミック体験、クリスマス広場、 ほっとオアシス	講座・教室等 の開催回数 (回)	38	38	40	40	A	前年度と比較し、開催数は微減したが、幼児 期から創造性を育む体験活動は重要であ り、親子でふれあう機会についても高いニ ーズが感じられる。講座の募集にあたり広報掲 載の申込開始日よりLINE配信後の申込 の方が反応がよく、若い保護者に公民館の存 在を知られていないこともある。必要な情報 が対象者に届くように、事業周知を強化す る。	A	コロナ禍以降、安全面を考慮し、 開催方法や講座定員を減らして いたが、段階的に事業を再開し た。南部公民館では「親子クラ フト教室」を令和5年度から毎月開 催するなど、年間を通じて機会 を創出し、開催回数については 概ね目標に達することができ た。	教育政策課 (公民館) (図書館)
	ライフステージに応 じた学習機会の充 実を図るため、乳幼 児を対象とした講 座・教室等を開催し ます。		▼子育てに関する相談、啓発活 動、サークルの育成、支援など の事業を行った。 ▼新型コロナウイルス感染症の 5類移行後も感染対策のためフ リースペースの時間を午前・午 後それぞれ30分短縮していた が、10月15日から短縮を終了 し、通常時間に戻した。	子育て支援 センターの利 用者数(人)	9,490	9,540	9,610	9,670					
5	子育て支援セン ター事業	子育てに関する相談、啓発活 動、サークルの育成、支援など の事業の実施 実施日:月～金曜日 9:00～1 6:00(土・日・祝日・年末年始 及び月1回月曜日の午後を除く)	▼子育てに関する相談、啓発活 動、サークルの育成、支援など の事業を行った。 ▼新型コロナウイルス感染症の 5類移行後も感染対策のためフ リースペースの時間を午前・午 後それぞれ30分短縮していた が、10月15日から短縮を終了 し、通常時間に戻した。	子育て支援 センターの利 用者数(人)	3,722	6,010	7,986	9,473	A	育児や子育てに関する情報提供と相談対応 など子育て支援体制の充実を図った。 育児不安を抱える保護者への相談対応を行 い、状況の把握に努めた。	B	新型コロナウイルス感染症の流 行及び感染防止に伴い、一般の 子育て家庭の利用を制限してい たが、5類以降に伴い段階的に 制限を緩和したことにより、利 用人数は、目標値を達成するこ とはできなかったものの回復傾 向にある。また、育児不安を抱 える保護者に対しては、利用を 制限していた間も電話・メール による相談対応・状況把握によ り支援を継続したことからB評 価とする。	子育て支援課
	子育てに関する相 談、啓発活動、サー クルの育成、支援 などの事業の実施 や、利用者のきっか けづくりとなるイベ ント等を開催しま す。		①父親・母親教室:1コース4日 年5コース 20回 ②父親母親教室OB会:1コース1 日年5コース 5回 ③離乳食講習会:前期12回 後期6回 幼児期6回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はやわかり 講座 1回 ⑦育児相談 34回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計144回	講座・教室等 の開催回数 (回)	133	133	133	133					
6	母子健康教育事業	事業の方向性 維持・継続 ①父親・母親教室: 1コース4日年5コース20回 ②父親母親教室OB会: 1コース1日年5コース 5回 ③離乳食講習会: 前期12回 後期6回 1歳6回 24回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はやわかり 講座 1回 ⑦育児相談 34回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計144回	①父親・母親教室:1コース4日 年5コース 20回 ②父親母親教室OB会:1コース1 日年5コース 5回 ③離乳食講習会:前期12回 後期6回 幼児期6回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はやわかり講座 1回 ⑦育児相談 34回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計144回	講座・教室等 の開催回数 (回)	127	130	134	144	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行後 も、感染について不安を感じる保護者もい ることから、感染対策は継続し事業を継続し ている。 人数制限のための予約を撤廃した事業もあ るが参加人数はコロナ前に比べ減少してい る。 コロナ禍から脱した後も不安を抱える保護者 は増加しており、育児相談の回数を増やし 開催。必要時情報提供、助言、支援を実施し た。各種講座・健康診査を通して、必要な情 報を提供し、相談先を周知し、相談内容に応 じて対応することができた。	B	令和3～4年は新型コロナウイルス感 染予防対策のため一部事 業の開催を控え、結果的に目 標達成には至らなかった。し かし新型コロナウイルス感 染拡大の中でもオンライン や、密を避け消毒を徹底す る等工夫し開催を継続して きた事業もあり、一部アン ケートからは高評価を得て いた。 令和5年以降は感染対策を 継続しつつも事業を再開し ている。不安を抱える保護 者も多いが必要な情報提 供と支援を実施した。コ ロナ禍では目標値を下回 ったが5類へ移行後は目 標を達成できていること からB評価とする。	子育て支援課
	初妊婦とそのパー トナーを対象に、出 産や育児についての 知識と技術を伝 えるとともに、他の 妊婦等と知り合うこ とや相談先を知る きっかけづくりとし て父親・母親教室等 を実施します。		合計144回	合計144回									

7	豊かな心・文化育成事業	<p>・小学校5校において、芸術鑑賞事業のための一部補助を行います。</p> <p>・中学校3校において、部活動の推進の補助及び進路指導に係る諸経費の補助を行います。</p>	<p>▼芸術鑑賞は、小学校5校において町の補助金を活用し実施した。</p> <p>▼中学校3校に部活動の推進として大会参加費及び吹奏楽部への補助を行った。</p> <p>▼中学校3校に進路指導に係る諸経費の補助を行った。</p>	進路指導、部活動及び芸術鑑賞の取組学校数(校)	14	14	14	14	A	<p>▼児童に様々な芸術に触れる機会を提供して、感性を高めるとともに、生涯学習の基礎づくりと充実を図ることができた。</p> <p>▼中学校3校への部活動の充実に向けた補助をしたことにより、子どもたちの部活動を充実させることができた。</p> <p>▼中学校3校において、進路指導に係る諸経費の補助を行うことにより、各校において効率的かつ丁寧な進路指導を行うことができた。</p>	A	<p>▼芸術鑑賞教室では、毎年度児童の実態に応じた団体を計画的に招き、様々な芸術に触れることができた。</p> <p>▼中学校3校の部活動では、運動部及び文化部において補助を行ったことで、生徒の心身の成長を促す機会の確保につながった。</p> <p>▼進路指導において、大きなトラブルもなく、円滑な指導を行うことができた。さらに、コロナ禍における出願方法の変更等に柔軟に対応することができた。</p>	学校教育課
	児童生徒の実態を生かした知育・徳育の観点から、児童生徒が将来の進路や優れた芸術文化・スポーツに触れる機会を創出することで、豊かな心を育成するとともに、文化芸術に対する興味関心及び意識の向上を図るため、進路指導や部活動、芸術体験事業の充実のための支援を行います。				9	11	14	14					
8	「地域のせんせい」ふれあい推進事業	地域の人材を活用して、町内小・中学校における授業の補助、体験学習等を行います。(各校の実態による)	コロナウイルス感染症が5類に移行してから、様々な活動ができるようになり、地域の人材を活用した教育活動を行うことができた。	体験的教育活動と指導の項目数(件)	45	45	45	45	A	<p>▼各教科の分野、総合的な学習の時間、道徳、学校行事等で地域の人材を活用し、その専門性を活かした充実した教育活動の実践が行われた。</p> <p>▼地域人材の高齢化に伴い、新規の人材を探していく必要がある。</p>	A	<p>▼コロナ禍においては、様々な工夫を凝らしながら、有意義な活動を行うことができた。</p> <p>▼地域人材の専門的な知識や技術を用いることで、多面的で多角的な学習活動を行うことができた。</p>	学校教育課
	体験的な教育活動と個に応じた指導などの充実を図るため、地域協力者の活用を推進します。				40	46	51	52					
9	さむかわゆうゆう学園の実施	<p>各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回(上半期、下半期)発行する。</p> <p>町内在住、在学の未就学児から中学生を対象に、ゆうゆう学園対象事業に1回参加するごとに、スタンプカードにスタンプを1個押し、10個スタンプを集めた申請者に修了証と記念品を贈呈する。</p>	<p>▼「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回(上半期、下半期)発行した。</p> <p>・子どものための生涯学習情報紙「すきっぷ」にゆうゆう学園対象講座を掲載し、事業の紹介を行った。</p> <p>▼スタンプを10個集めた申請者に対して「ゆうゆう学園修了式」を実施し、町長から修了証及び記念品を授与した。</p> <p>▼修了証授与式 開催日：令和7年3月26日(水) 午後2時～2時30分 会場：町民センター 出席者：22人</p>	修了証交付人数(人)	35	35	35	35	A	<p>修了証申請者数は前年度と比べ減となったが、目標数値を達成した。「すきっぷ」や広報での制度の周知が多くの子どもたちの参加につながっている。引き続き、ゆうゆう学園対象の講座や教室を周知し、青少年に地域での学習機会を提供するとともに、修了証申請者数を増やしていきたい。</p>	A	<p>令和5年度に修了証交付人数が大幅に増加し、令和6年度はやや減ったが目標数値を上回って達成することができた。コロナ禍により機会が減少していた子どもの体験活動について、スタンプカードや修了証などの目標を設けることで、子どものモチベーションを高める契機の一つになっていると考える。</p>	学び推進課
	青少年に地域での学習機会を提供し、学びに目を向ける動機づけとなるよう、町の機関等が実施する事業をとりまとめて参加を奨励します。				18	21	49	41					

10	子どもの読書活動推進に関する事業		▼おひざにだっこのおはなし会(毎月第1日曜日、第4水曜日)24回・延べ238人 ▼土曜日おはなし会(毎月第1・2・3土曜日)50回・延べ763人 ▼出張わらべうた:年3回、延べ参加者44組 ▼夏のこわ〜いおはなし会:8/29参加者39人 ▼冬のスペシャルおはなし会:12/21参加者28人 ▼ぬいぐるみおとまり会:5/24~25参加者延べ17人 ▼ジュニア司書講座7/24~8/24(8回)参加者延べ21人 ▼わくわく読書マラソン:7~8月参加者227人 ▼おすすめカード募集:7~8月参加者19人 ▼どくしょメダル:年3期、参加者延べ118人 ▼読書通帳配布:年間139冊 ▼図書館、文書館体験ツアー:7/31参加者10人 ▼十進王国クイズラリー(毎月)参加者407人 ▼児童書展示(10回)、絵本小規模企画展示(22回)、YA展示(5回)、分室展示(4回)		95	95	100	100					
	地域における子どもの読書活動を推進する上で、図書館は重要な役割であり、そのための人づくり、環境づくり、情報提供等の事業を実施します。	【総合図書館】土曜日おはなし会、ぬいぐるみおとまり会、ジュニア司書講座、図書館・文書館体験ツアー、わくわく読書マラソン、おすすめカード募集、YA向け図書館通信発行、絵本小規模企画展示、児童向け展示、YA向け展示 等	子ども読書活動に関する事業の提供回数(回)	27	125	134	148	A	コロナ禍以降、子どもの読書離れが加速し、図書館利用登録者、貸出点数の減少が見られるが、青少年を対象とした事業や本の展示を積極的に実施し、読書活動推進の機会を提供している。総合図書館の図書展示は利用者アンケートでも評価が高く、今後は新たな利用者の増加につなげられるよう事業の推進をする。	A	以前より子どもの読書ばなれが懸念されていたが、コロナ禍以降はその傾向が加速している。土曜日おはなし会はこれまで毎週土曜日開催し、自由に参加できたところを、コロナ対策として開催回数減少や事前申込制にすることで、参加者の利便性が下がったことも図書館利用の減少に影響を与えたと考える。段階的に再開し、おはなし会の場所を児童書フロアに変更して気軽に参加しやすいようにしたり、子どもの読書推進に関わる新規イベントを企画したりするなど、工夫を重ね、機会の提供については、目標を上回り達成することができた。	教育政策課(図書館)	
11	青少年を対象とした公民館事業		【町民センター】にこにこ学習会、TGG(東京英語村)バスツアー等20事業66回・延べ2,710人 【北部公民館】親子でホテル観察会、子ども実験教室等19事業22回・延べ974人 【南部公民館】子どもクッキング教室、寒川中・寒川東中吹奏楽部楽器体験等17事業27回・延べ872人 【共通】ジュニア絵画展、応募作品数1342点 書き初め大会、参加者43人		97	97	102	102					
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、青少年を対象とした講座・教室等を開催します。	【町民センター】星空観察会、プチロボ作りと競走会、こども書道教室 等 【北部公民館】子ども卓球教室、子ども実験教室、モザイクアート教室 等 【南部公民館】子どもクッキング教室、子ども寄せ植え教室、クッキング教室等 【3館共通】イングリッシュキャンプ、絵画教室、書き初め大会	講座・教室等の開催回数(回)	41	96	120	115	A	コロナ禍の時期は子どもの体験活動の機会が減少していたこともあり、料理やクラフト体験などのニーズが高く、定員を超える多数の申込がある。講師と調整し、可能であれば回数を増やすなどの対応をし、希望者を受け入れる努力をしている。オンライン申込を導入し、申込者は増えているが、当日の無断キャンセルも多いことが課題となっている。多数の希望者の中から当選者を選出していることもあり、当日欠員は残念なことから、キャンセル待ちの人にも繋げられるよう、数日前にリマインドメールをするなど対策を行っている。	A	コロナ禍の時期は子どもの体験活動の機会が減少していたこともあり、料理やクラフト体験などのニーズが高く、定員を超える多数の申込が見られる。令和4年度からオンライン申込フォームを導入し、青少年対象の講座はオンライン申請の抽選制にしたところ、働く保護者にとって、時間を問わず申込ができるようになった利便性から参加申込者が増加した。これまで公民館講座はリピーターの参加が多かったが、申込がしやすくなったことで新規参加者が増えるなど、裾野が広がる効果が見られた。	教育政策課(公民館)	

12	青少年育成事業		・小学生農作業収穫体験(1回) 5月25日(土)苗植え、8月3日(土)草取り【中止】、11月9日(土)芋掘り19人参加 ・子どもまつり(1回) 6月8日(土) 64人参加 ・小学生体験学習モルック体験と万華鏡作り(1回)10月26日(土)、18人参加 ・青少年問題協議会(2回)7月18人、2月13人 ・創意くふう展(9~10月、1回)小学校29点、中学校12点応募 ・成人式(1回)11月13日(月)、370人参加 ・青少年指導員定例会(4~3月、11回) ・ジュニアリーダーズクラブ定例会(4~3月、6回)15人 ・ジュニアリーダーズクラブ事業(3回) ・ジュニアリーダーズクラブ団体派遣等※子ども会、公民館等(10回)	町が行う青少年健全育成事業開催数(回)	35	35	35	35	A	小学生農作業収穫体験においては、草取りの日が猛暑のため中止とした。来年度からは時間を変更して開催したい。小学生体験学習モルック体験と万華鏡作りについては19名の申込みがあり、当日は18名の参加となった。実施後のアンケート結果も良好で、有意義な事業にすることができた。 ジュニアリーダーズクラブについては、7名の新メンバー(うち3名は男子)を獲得し、積極的な活動をする事ができた。その他にも子どもまつり、小学生農作業収穫体験、創意くふう展、青少年問題協議会、成人式等の事業の開催や、青少年指導員連絡協議会、子ども会等の団体活動の支援を行うことで、青少年の健全育成につなげることができた。	A	子どもまつり、小学生体験学習(2事業)、青少年問題協議会、創意くふう展、成人式等の事業の開催や、青少年指導員定例会、ジュニアリーダーズクラブ定例会、子ども会、公民館等の団体活動の支援を行うことで、青少年の健全育成につながっている。今後も引き続き青少年の健全育成のため、幅広い年齢層が参加できる事業の実施や各団体活動の支援を行っていく。子どもまつり、小学生体験学習事業の参加者減少については、今後も内容の検討をする必要がある。しかし、課題としていたジュニアリーダーズクラブの男子会員の獲得について、令和6年度に3名の新規入会があったことは、男子向け事業の取り組み結果が反映された。	学び推進課
	青少年の健全育成に向け、幅広い年齢層が参加できる事業の実施や指導員、リーダーの育成を図り、青少年活動を支援します。	小学生農作業収穫体験(1回) 5月25日(土)苗植え 8月3日(土)草取り 11月9日(土)芋掘り 定員30人 子どもまつり(1回) 6月8日(土) 定員150人 キャンプ(1回) 青少年問題協議会(2回) 創意くふう展(1回) 成人式(1回) 青少年指導員定例会(12回) ジュニア定例会・事業(11回) 団体派遣(5回)※子ども会、公民館等	4	30	36	37							
13	ふれあい塾運営事業				7,450	7,450	7,450	7,450	C	寒川・一之宮・南小学校は、月・水・金の週3日実施できたが、旭・小谷小学校は、週1日のみの実施だったため、児童へのふれあい塾の定着が難しかった。来年度からは、旭・小谷小学校においては週2日に増やし児童への定着を図りたい。また、指導員や見守りボランティアの募集を続けていく。	C	小学校体育館を自由な遊び場として開放し、指導員等が安全管理のために見守りを行うことで、児童の遊びの場、体験の場を通して異年齢児童館の交流を促進するとともに、創造性、自主性及び社会性を養い、児童の健全育成につながっている。今後も引き続き、安心して遊べる場の提供、環境整備を行っていく。また、令和5年10月から再開したことから、週3日に満たないふれあい塾もあるため、令和7年度からは回数を増加し、児童の居場所確保に努めたい。併せて、指導員、見守りボランティアの募集を広報、ホームページ等で行う。	学び推進課
	放課後の体育館を活用し、地域や児童クラブとの連携をとりながら、安心して遊べる場の提供、環境整備を行います。	週3日(月・水・金)町立5小学校体育館で、育成指導員と見守りボランティアを配置し実施する。 実施時間 4~9月...15時30分~17時00分 10~3月...15時30分~16時30分 ※給食のない日及び学校休業日を除く。	週3日(月・水・金)町立5小学校体育館で、指導員と見守りボランティアを配置し開催 ※給食の無い日及び学校休業日は開催しない ・延べ参加人数:3,953人 ・実施日数:325日	参加人数(人)	0	0	2,397	3,953					

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策3】成人期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
			6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
14	成人を対象とした公民館事業	【町民センター】布ぞうり作り講座、書道入門講座、歴史講座等 【北部公民館】和菓子作り教室、初めての短歌教室、陶芸教室、等 【南部公民館】リメイク講座、茶道体験講座、世界遺産講座 等	【町民センター】 おとな書道講座、初心者メンズ・パン作り講座、園芸講座 等 21事業27回・延べ2,899人 【北部公民館】 和菓子作り教室、普通救命講習会、初めての短歌講座 等 24事業39回・延べ622人 【南部公民館】 初心者茶道体験講座、着物リメイク講座、そば打ち体験講座 等 14事業40回・延べ574人	講座・教室等の開催回数(回)	115	115	115	115	A	各公民館で様々な講座を企画し、とくに趣味的なものや健康や運動に関する内容は概ね定員に達する事業が多く、好評を得ている。公民館利用者の男女比が約2対8であることから、男性の利用者を増やすために、男性の対象とした限定講座などを積極的に実施する必要がある。	A	目標数値には達しないが、コロナ禍からの再開以降、成人対象の多様な講座等を安定して開催できている。公民館講座をきっかけにサークル化する事例も増えていることから、地域で継続して学ぶことができる機会につながっている。	教育政策課 (公民館)
	77				112	106	106						
15	労働講座等の開催	・寒川町商工会と町の共催で創業支援セミナーを実施予定 ・他市等広域で企業と高校の情報交換会を実施予定(令和6年6月3日予定) ・他市等広域で湘南合同就職面接会を実施予定(令和7年1月予定) ・労政問題懇話会と町が共催で労働講座を実施予定(実施日未定)	▼労働講座 開催日:令和7年2月19日 会場:町民センター視聴覚室 参加人数:37名 ▼寒川町ミニ面接会 開催日:令和7年3月4日 会場:町民センター展示室 参加人数:14名(内、1名午前午後両方参加) ▼湘南合同就職面接会 開催日:令和7年1月29日 会場:藤沢商工会館 ミナパーク 参加人数:97名(内、寒川町6人) ▼企業と高校の情報交換会 開催日:令和6年6月3日 参加校数:27校(内、寒川町1校) 会場:藤沢商工会館ミナパーク ▼創業支援セミナー 開催日:10~11月 会場:寒川町商工会大会議室 参加人数:18名	講座・教室等の開催回数(回)	3	3	4	4	A	▼労政問題懇話会にて、「資産形成セミナー:知って得するNISA・iDeCoの魅力」をテーマに労働講座を実施し、事務局としてサポートした。 ▼寒川町ミニ面接会、広域就労事業(湘南合同就職面接会、企業と高校の情報交換会)を開催し、求職者の町内企業への就業支援を実施した。 ▼商工会との共催で町内での新規創業者(創業後概ね2年未満)・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催した。	A	新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度4年度は縮小していたものの、令和5年度以降は実行計画どおりに実施することが出来た。	産業振興課
	4				4	5	5						

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策4】高齢期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
			6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
16	高齢者を対象とした 公民館事業	【町民センター】高齢者のための 生き方講座、体にやさしい健康 体操 【北部公民館】シニアクラス、大 人の超初心者パソコン教室	【町民センター】 健康講座、シニア男性体操教室 2事業2回延べ31人	講座・教室等 の開催回数 (回)	10	10	15	15	B	高齢期を対象を絞った事業数は少ないが、 成人対象事業の参加者は大半が高齢者層 であり、学習機会の充実は図られている。町 民センター事業の「シニア男性体操教室」 は、男性も身体を動かしたいニーズは高く ても、公民館講座は女性が多いことで参加に 躊躇する意見を取り入れ、男性限定対象で 企画し、好評だった。北部公民館の囲碁開 放は令和6年度は利用者がなく、開放事業 の見直しが必要となっている。	A	令和6年度実績は目標数値に達 しなかったが、その他年度は達 成している。高齢者のニーズとし ては、健康や運動、スマホの使 い方など日常生活に必要な知識 を学習機会を望む意見もあるこ とから、時宜を得たテーマ設定 と、公民館は男性利用が少ない ことからシニア男性限定の講座 を行うことで、新たな利用者の掘 り起こしにつながった。	教育政策課 (公民館)
	【北部公民館】 大人のパソコン超初心者教室、 囲碁開放 2事業4回延べ20人 【南部公民館】 脳と身体の健康リミック体操教 室、囲碁・将棋開放 2事業6回延べ1,720人 ※開放事業は回数を計上しない		13		10	23	12						
17	高齢者生きがいづく り等支援事業	令和6年度寒川町シニアクラブ 連合会運営費補助金の交付及 び連合会の運営支援を実施す る。	シニアクラブ活動事業及びシニ アクラブ連合会職員の人件費補 助として当該補助金を交付し た。	シニアクラブ 加入者数 (人)	695	700	705	710	B	▼シニアクラブ連合会への補助金の交付及 び事業の支援を通じ、町内の高齢者の生き がいづくりや健康づくりを推進した。 ▼シニアフェスティバル等の会員の増加につ ながるようなイベントを実施したものの会員 の高齢化による退会や活動休止をするクラ ブもあり会員数としては減少した。今後につ いてはシニアクラブがない地域を対象に新 規クラブを開設予定。	B	会員数については目標を下回り 続けたものの毎年度70%を超え るB評価が続いたため4年間の 評価についてもB評価とした。	高齢介護課
	地域での生きがい づくり、健康づくり推 進のため、シニアク ラブの活動を支援し ます。		シニアクラブ連合会 シニアクラブ数:15クラブ(うち2 クラブ休止中) 会員数:524人(3月末日時点)		606	601	577	524					
18	介護に関する講座 等の開催 (介護予防事業)	元気はっけん広場集合版 4月～3月 4期48回 1期12回 毎回100名程度	元気はっけん広場と高齢者健康 トレーニング教室は予定どおり に開催でき、講師派遣事業も前 年より36件増となった。 ポールウォーキング体験会は、 予定通り実施でき、5月10名、10 月6名の参加者だった。	講座・教室等 の開催回数 (回)	173	179	186	192	A	▼介護予防事業を実施し、町内高齢者の生 きがいや健康づくりを促進した。今後も新規 参加を促進するため広報等の情報発信に努 める。 ▼ポールウォーキング体験会については、 自主グループが25名を超え、新たな通いの 場として定着したため、次年度以降は体験 会を終了する。	A	毎年度概ね目標を達成している ためA評価とした。	高齢介護課
	高齢者の社会参 加、介護予防に関 する学習機会を提 供します。	元気はっけん広場在宅版 10月～11月 8回10名 介護予防講師派遣事業 通年開催 依頼により120回派遣 高齢者健康トレーニング教室 6～7月,9～10月,11～12月 3期24回 1期8回20名 高齢者認知症予防脳トレーニ ング事業 時期未定 2回各10名 ポールウォーキング体験会 5月、10月 定員10名			150	211	240	294					

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策1】スポーツ・健康について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
			6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
19	スポーツ活動応援 事業	かながわスポーツ月間の10月に 合わせたスポーツデイの実施 や、町民誰でも参加可能なレク リエーションフェスティバル、ボツ チャやスカットボールなどの ニュースポーツ講習会を予定。	▼観桜駅伝競走大会 1回 ▼初心者弓道教室(全8回) 1回 ▼2024さむかわスポーツデイ 1 回 ▼レクリエーションフェスティバ ル 1回 ▼湘南スポーツキッズフェスタ 1回 ▼親子トランポリン教室 1回 ▼ニュースポーツ講習会(シニ アクラブ全4回) 1回 ▼ニュースポーツ講習会(大曲 自治会) 1回	講座・教室・ 大会等の開 催回数(回)	13	15	17	19	C	令和6年度の教室開催数は、前年度と同数 実施。町主催以外に、指定管理者独自での 教室開催も並行して実施。町主催事業にお いては、町民のニーズ及び時代に合わせた 教室を検討し、実施していきたい。	C	4年間での目標と照らし合わせ、 教室開催数が減少しているが、 指定管理者へ移管したことや、 指定管理者による自主事業によ り、町民に対して広く教室を開催 することができたと考えられるた め。	スポーツ課
	健康運動ボランティアによる地域活動 の開催		健康づくり体操の日は4月から 令和7年3月まで、月2回年間2 4回実施予定。 地域活動支援は、町事業、出前 講座の依頼状況により実施予 定。	健康づくり体操の日は全24回す べて実施。延べ参加人数1,421 人。昨年度より大幅に参加人数 を増やすことが出来た。 また、地域活動運動ボランティ アについて、団体等からの依頼 が7件、町事業を含めて計14回 の活動を実施。	健康運動ボ ランティアの 地域活動の 実施回数 (回)	45	45	45					
健康運動ボランティアによる地域活動 を行い、学習の機 会を提供します。			0	44	40	38							

【施策2】環境について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
			6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
21	環境に関する講座 等の開催	環境フェスティバル及び環境学 習教室(5月)、川の生き物調査 隊(7月)、森を知ろう及び親子 環境バスツアー(8月)、寒川の 河原で遊ぼう(10月)、環境バ スツアー(11月)、住みよいまち づくり条例ポスター展(12月)、 環境保全研修会及び野鳥観察 会(1月)、自然観察の森での環 境学習会(3月)	▼環境フェスティバル ▼環境学習教室:5/18 ▼川の生き物調査隊:7/27 ▼親子環境バスツアー:8/22 ▼みどり保全セミナー～発見！里 山里川探検隊～:10/27 ▼住みよいまちづくり条例ポスター 展:期間11/29～12/5、出品数:103 点 ▼気候変動講演会:12/9 ▼野鳥観察会:1/25 ▼環境保全研修会:2/27 ▼自然観察の森での環境学習会 :3/1 ▼茅ヶ崎市と寒川町の小学生の親 子を対象に7/30夏休み親子見学バ スツアーを行った。(RC) ▼茅ヶ崎市民と寒川町民を対象に 11/22環境施設見学バスツアーを 行った。(RC)	講座・教室等 の開催回数 (回)	10	11	11	11	A	大方計画通りの事業を開催することが できた。どの事業も町民から多くの申込みが あり、積極的に環境学習に参加していただ くことができた。課題としては、申込み人数が限 られている事業に関して、直前のキャンセル などに柔軟に対応し、一人でも多くの町民に 参加いただけるよう工夫が必要だと感じた。 今後も町民自らが環境の大切さを学ぶ場と して事業を続けていきたいと思う。	B	令和3年度に新型コロナウイルス 感染拡大防止を考慮し開催回 数の確保が困難であったもの の、令和5年度以降は目標を達 成しており、環境教育・学習の場 の提供に努めることができた。	環境課
	環境問題の認識を 深めるため、環境 教育・学習の場 の提供を推進します。				5	8	12	12					

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策3】安全について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
			6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
22	防災に関する教室 の開催	各種団体、学校、保育園等において、防災に関する講座、教室等を実施します。	各種関係団体等において、講習会や研修を実施した。 ▼5/24 地域活動支援センターの利用者および職員 12人 ▼7/6 防災リーダー研修 30人 ▼7/10 北部民生委員 26人 ▼9/14 東中避難所開設訓練 78人 ▼10/4 越の山住宅自治会越の山サロン 21人 ▼10/27 防災センターバスツアー① 20人 ▼11/9 南小避難所開設訓練 104人 ▼12/26 防災センターバスツアー② 27人 ▼1/10 かっぱどっこり(障がい者支援施設) 20人 ▼1/12 防災講演会 65人 ▼3/5 食ボラさん 20人 ▼2/21~3/10 町内5保育園・幼稚園	講座・教室等の開催回数(回)	11	11	11	11	A	町民、各種団体等の防災意識の高まりからか、目標数値を上回った。また、防災講演会は去年度のYoutube配信と打って変わり、対面での講演会を実施した。今後も自助・共助の重要性から、継続的に実施していく必要がある。	A	R3はコロナ禍ということもあり、目標数値には届かなかったが、R4~R6に関しては徐々に講座等の実績数が増加し、町民等の防災意識の高まりを感じることができたため。	町民安全課
	2				10	13	16						
23	交通安全教室の開催	小学1年生(歩行教室)及び3年生(自転車教室)を対象に交通安全教室を茅ヶ崎警察署と協力し学期前半(4~6月)に開催する予定。	小学生や高齢者対象に交通安全教室などを実施した。 4/25旭保育園交通安全教室 5/8寒小1年交通安全教室 5/10一之宮小1年交通安全教室 5/14小谷小1年交通安全教室 5/20一之宮小1年交通安全教室 5/20寒小3年交通安全教室 5/28小谷小3年交通安全教室 5/29旭小1年交通安全教室 5/31旭小3年交通安全教室 6/5一之宮小3年交通安全教室 6/12南小3年交通安全教室 9/19寒川湘南保育園交通安全教室 9/27シルバードライビングスクール 1/29湘南こども園交通安全教室 3/11田端老人クラブ高砂会交通安全講話	講座・教室等の開催回数(回)	6	6	6	6	A	町内における令和6年度中の死亡事故は0件であったが、令和4年度以降は毎年「自転車交通事故多発地域」に指定された。今後についても、悲惨な交通事故を無くすため、引き続き交通安全教室(小学1年生、3年生)や高齢向けの講話等を実施していく必要がある。	A	各種交通安全教室の実施により、交通安全意識の高揚が図られたことに加え、期中の交通死亡事故が0件であったため。	町民安全課
	5				10	8	15						
24	消費生活に関する講座等の開催	町内自治会等へ消費生活関連の講座等を1回実施予定です。	初心者向けスマートフォン教室開催 第1回:令和6年9月3、4、11日、全3回、16名参加 第2回:令和7年1月17、21、31日、全3回、25名参加	講座・教室等の開催回数(回)	1	1	1	1	A	スマートフォンの基本操作を始め、キャッシュレスの使い方を体験することで、消費生活を学ぶ学習機会を提供することができた。昨年度に引き続きデジタル推進課と連携して6回開催することができた。	A	教室の開催回数について、毎年度目標回数を達成したことで学習の機会を提供できたと考えられるため。	町民窓口課
	1				1	3	6						

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応
 【施策4】生活課題について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
25	福祉に関する講座 等の開催	町内の全小中学校における福祉を育む学びの場づくり、地域における福祉体験の場づくり(地域講座)、地域福祉フォーラムの開催、介護に関する入門的研修の開催、成年後見講座の開催、各種ボランティア講座(ボランティア体験会、ボランティア学びあい講座)等の開催、各種出前講座の開催、認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座等の開催、福祉有償運送運転者講習会の開催、宿題応援自習室「きんじろうルーム」の開催、ふれあい福祉フェスティバルの開催、みんなの健康セミナーの開催等	▼町内の全小中学校における福祉を育む学びの場づくり(町内5校の小学校、3校の中学校で、全22の福祉体験等を実施)▼地域における福祉体験の場づくり(地域講座)(町内の団公共施設や団体あてに6ヶ所で実施)▼地域福祉フォーラムの開催(参加申込み無く流会)▼介護に関する入門的研修の開催(基礎講座(3時間30分)受講者19名、入門講座(23時間・4日間)受講者15名)▼成年後見講座の開催(参加者25名)▼各種出前講座の開催(民生委員、シニア連、地域サロン等で実施)▼認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座・キッズサポーター養成講座(合計18回実施 受講者826名)▼ボランティア体験会(全3回、参加者49名)▼ボランティア学びあい講座(3日間、7つのプログラム受講者12名)▼ふれあい福祉フェスティバル(体育館で開催、出店37団体、パフォーマンスエリア出演7団体、来場者数1,900人)▼きんじろうルーム(夏休みの宿題のための自習室、全6日間実施、参加した子ども19名)、福祉有償運送運転者講習会(受講者(寒川町社協登録者のみ3名)、みんなの健康セミナー(全4回開催、参加者66名)等	講座・教室等の開催回数(回)	40	40	40	40	A	社会福祉協議会が取り組む幅広い事業において、各種の講座等の開催を継続している。毎年、テーマや開催方法を工夫し、周知の方法も増やしている。結果、子どもからお年寄りまで、幅広く、福祉に関する講座、地域福祉の活発化、理解を深めるための講座や学習機会が根付いてきている。	A	コロナ禍を含む期間ではあったが、各事業担当者の創意工夫で、講座の開催を継続してきた。コロナ禍での対応の創意工夫やオンラインの活用等は、現在も活発に使えるツールとなっていて、より広報活動が充実しました。社会福祉協議会が取り組む幅広い事業において、各種の講座等の開催を継続して開催できた。毎年、テーマや開催方法を工夫し、周知の方法も増やしてきた。結果、子どもからお年寄りまで、幅広く、福祉に関する講座、地域福祉の活発化、理解を深めるための講座や学習機会が根付いてきており、地域福祉の推進につながった。	福祉課(社会福祉協議会)
	地域福祉の活発化、理解を深めるための講座や学習機会を提供します。				41	73	74	70					
26	男女共同参画推進事業	令和6年度は神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業での講演会を1回開催予定です。令和5年度まで開催していた(2市1町)藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業での人権及びジェンダー平等・男女共同参画特別講演会(1回)について、令和6年度は講演会ではなく、DV防止啓発リーフレット及び人権・ジェンダー平等啓発リーフレットを作成する予定です。	▼令和6年度神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業を実施しました。テーマ:仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座「伝える」から「伝わる」へ～相手のココロを動かすコミュニケーション術～実施日:令和7年2月13日～2月26日開催方法:YouTubeによる動画配信(事前申込制)講師:山本衣奈子氏参加者数:148名▼藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業は講演会ではなく、DV防止啓発リーフレット及び人権・ジェンダー平等啓発リーフレットを作成、配布しました。	講座・教室等の開催回数(回)	2	2	2	2	C	日常生活や職場での人間関係を円滑にするためのコミュニケーションスキルについて具体例を交えながらわかりやすく講演をいただいた。日常生活や職場での人間関係を円滑にするために何が必要なのか考えるきっかけを提供することができた。より良い人間関係を作るには、相手を思いやることが大切であり、仕事を続けるためには良い人間関係が大きな支えとなるといったコミュニケーションの重要性を学ぶことができた。	B	講座の開催回数について、令和6年度を除き目標数値を達成したことで、学習の機会を提供できたと考えたため。	町民窓口課
	男女共同参画社会実現に向けた意識啓発を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。				2	2	2	1					

27	平和推進事業		▼平和パネル展(1回目) 開催日:令和6年8月8日~8月21日 場 所:寒川総合図書館 テーマ:「平和なまち」絵画コンテスト入賞作品展 来場者数約:8,000人 ▼平和パネル展(2回目) 開催日:令和7年2月8日~2月25日 場 所:町民センター テーマ:平和首長会議原爆ポスター展 来場者数:約340人	平和推進事業の開催回数(回)	1	1	1	1	A	昨年度に引き続き、平和パネル展を2回開催することができ、多くの方、幅広い世代の方に平和思想の普及・浸透を図ることができた。	A	開催回数について、毎年度目標数値を達成したことで、平和思想の普及・浸透を図ることができたと考えるため。	町民窓口課
	平和思想の普及・浸透を図るため、展示・講演会等の学習機会の提供を図ります。	平和パネル展を開催し、平和思想の普及・浸透を図ります。令和6年度は2回開催予定です。	1	1	2	2							
28	家庭教育支援に関する事業の開催		【町民センター】 ママとベビーのふれあい体操、親子でプログラミング、親子体操教室、星空観察会、親子工作教室、5事業5回、延べ157人 【北部公民館】 おはなし図書館、夏休みおはなし図書館、バルーンで遊ぼう、親子でホテル観察会、北部ハロウィン、親子サロン 6事業9回、延べ135人 【南部公民館】 おはなし広場幼児、親子でクラフト教室、親子ミニ運動会、親子でリトミック教室、クリスマス広場、氷のいないカーリング体験、親子寄せ植え教室、ほっとオアシス 8事業32回、延べ629人参加 【総合図書館】 おひざにだっこのおはなし会、出張わらべうた会 2事業27回、延べ326人参加	講座・イベント等の実施事業数(件)	6	8	8	8	A	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供することができた。	A	各公民館、図書館で家庭教育支援に関する講座を多数開催することができ、目標数値を大きく上回った。家庭教育とは本来家庭内で行われるものであるが、近年は家族のあり方が複雑化、多様化しており、子どもの成長のために必要な学びを家庭だけでは困難なことから地域での支援が重要となっているところからも、多様な機会を提供することができた。	教育政策課 (公民館) (図書館)
	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供します。	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操、親子工作教室、親子プログラミング教室 【北部公民館】親子ホテル観察会、親子体験見学会 【南部公民館】親子でクラフト教室、親子リトミック教室、親子バスツアー 【総合図書館】おひざにだっこのおはなし会、出張わらべうた会	12	18	19	21							
29	現代的・地域的課題に関する講座等の開催		【町民センター】親子でプログラミング講座、人権朗読コンサート、地域の語り部講座、文化講演会、プログラミング講座、健康講座、避難訓練コンサート、初心者メンズ・パン作り講座、参加体験型学習「平和って？平和じゃないって？」、シニア男性体操教室、毎日がより楽しくワクワクする生き方講座 11事業11回、延べ619人参加 【北部公民館】寒川のホテル展、親子でホテル観察会、普通救命講習会、大人のパソコン超初心者教室、防災講座、寒川歴史散歩、お飾り作り教室、社会見学 8事業12回、延べ325人参加 【南部公民館】世界遺産講座、さむかわイングリッシュキャンプ(成人)、一之宮サマーフェスティバル盆踊り練習会、寒川中・寒川東中学校吹奏楽部楽器体験、さむかわ町の仏像探訪、ロボテラスと藤澤浮世絵館見学、普通救命講習会 7事業8回、延べ108人参加 【総合図書館】みんなの映画会(バリアフリー映画会)、読み聞かせ講座 2事業2回、36人参加	講座・教室等の開催回数(回)	15	16	18	20	A	趣味、教養、青少年向け等の住民のニーズの高い講座と比較して、現代的課題をテーマとした講座は定員に満たない場合もあるが、実施する意義は大きい。参加者アンケートで受講者の評価は高いが、関心を惹き、参加してもらうまでの工夫が必要。公民館利用者は70代以上のシニア女性の参加が多いことから、子育て世代・勤労世代や男性の参加が増えることが望ましいと考える。	A	各公民館、図書館で現代的・地域的課題に関する多様な講座を開催し、目標数値を上回り達成することができた。	教育政策課 (公民館) (図書館)
	現代的・地域的課題に関する講座・教室等の学習機会を提供します。	【町民センター】ボランティア育成講座、地域の語り部による講座、環境講座、人権朗読コンサート、避難訓練コンサート、平和講座、近隣施設見学 【北部公民館】救命講習会、ほくぶくらぶ(シニア仲間づくり)、メンズクッキング、寒川歴史散歩、お飾り作り教室 【南部公民館】農業講座、自治会納涼盆踊り講座、文書館出前講座、世界遺産講座、寒川神社を知ろう講座、寒川古代歴史散策講座 【3館共通】イングリッシュキャンプ、だがしや楽校	27	31	39	33							

【施策の方向4】学習環境の充実

【施策1】施設の有効活用

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
30	青少年広場の有効活用	開場時間 4月～9月…9時00分～18時00分 10月～3月…9時00分～17時00分	▼グラウンド 年間利用件数:407件 年間利用人数:15,515人	年間利用者 数(人)	28,000	28,000	28,000	28,000	A	年間を通して多くの利用者があり有意義だった。	A	青少年広場を貸し出すことにより、町民、特に青少年の活動場所の確保、及びその活動の助長につながっている。今後も引き続き、貸し出しを行っていく。	学び推進課
	グラウンド及び多目的広場等の貸し出しを行います。	※12月29日から1月3日を除く。 貸出施設 グラウンド、多目的広場、バーベキュー場	▼多目的広場 年間利用件数:192件 年間利用人数:6,162人		27,566	31,551	28,666	26,854					
31	図書館の有効活用		①開館日数:総合図書館311日、分室315日 ②利用件数(資料貸出点数):274,624点 ③来館者数:186,205人 ④図書館講座(成人対象)回想サロン、10/3、3/13、延べ14人参加 みんなの映画会、11/24、19人参加 図書館映画会、6/26、9/11、2/26 延べ46人参加 大人の朗読会、9/22、18人参加 手づくり布絵本講座、6/1、7人参加 読み聞かせ講座、2/15、17人参加 図書館コンサート、11/3、1/19、延べ152人参加	年間利用者 数(人) (総合図書館、北部分室、南部分室の総計)	320,000	320,000	330,000	330,000	C	令和5年度に図書館システム入替により入館ゲートの台数減に伴うカウント方法変更の影響もあるが、図書館の利用は減少傾向にある。 新型コロナウイルスの影響で、子どもの読書ばなれが加速しており、新たな利用者拡大に向けた取組が必要となっている。令和5年度に新設した総合図書館2階の個別学習席にはYA世代の利用者は増えているが、利用登録者や貸出につながる工夫が必要である。 子どもの読書活動推進のために、図書館来館促進には保護者の協力が必要であり、町民にとって身近な施設と感じてもらえるよう、周知活動が重要である。	C	コロナ禍以降の令和3年度から利用登録者、来館者は年々減少傾向にあり、とくに子どもの利用回復が課題である。	教育政策課 (図書館)
	町民のニーズに即したサービスを展開し、町民のだけれども、いつでも、どこでも身近に利用できる図書館を目指します。	【総合図書館】回想サロン、宿題おたすけ講座、ジュニア司書講座、ロボットプログラミング講座、布えほん講座、みんなの映画会、読み聞かせ講座、おはなし会ボランティア活動、配架書架整理ボランティア活動	239,407		229,922	203,317	186,205						
32	公民館の有効活用		【町民センター】 利用団体数:5,522団体 利用者数:70,079人 事業実施数:52事業、7,322人参加 【町民センター分室】 利用団体数:801団体 利用者数:8,451人 【北部公民館】 利用団体数:1,797団体 利用者数:15,897人 事業実施数:53事業、3,545人参加 【南部公民館】 利用団体数:、2,870団体 利用者数:32,170人 事業実施数:44事業5,613人参加	年間利用者 数(人) (町民センター、町民センター分室、北部公民館、南部公民館の総計)	140,000	150,000	160,000	170,000	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度の利用団体数、利用者数が大幅に落ち込んでいたが、令和4年度以降は回復しつつある。利用団体数はコロナ以前の水準に戻ったが、利用者数はサークルの高齢化、固定化によるサークルの会員数が減少や、新規サークルは会員数が多くないことから、利用者数は目標値に達しなかった。しかし、前年度より増加しており、今後も既存サークルへの加入支援と、新規サークル結成の支援を両輪で推進していく。	B	コロナ禍以降の令和3年度から利用者は回復傾向にあるが、コロナ以前の水準には戻っていないため、目標値には達しなかった。利用者の高齢化が課題であり、若い世代の利用者を呼び込む工夫が必要である。	教育政策課 (公民館)
	地域の生涯学習活動の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等を開催します。	【町民センター】57事業実施予定 【北部公民館】50事業実施予定 【南部公民館】47事業実施予定	84,806		109,614	120,737	126,597						

33	寒川総合体育館の有効活用	寒川総合体育館指定管理者によるスポーツ・文化に関する自主事業を定期開催し、幅広く利用者を確保する。 また、夏季や冬季に利用者が快適に運動等ができるよう空調機器の利用を促し、利用者の拡大を図る。	① 開館日数: 347日 ② 利用件数: 7,995件 ③ 利用者数: 179,505人 ④ IT施設予約: 有	年間利用者数(人)	143,500	179,000	214,500	250,000	C	令和6年度からは、武道場及びサブアリーナに空調機が設置された関係により、どの季節においても、快適にスポーツを行う環境づくりができ、利用者が増加した。 また、町のホームタウンチームのホームゲームなど幅広い利用が行われ、スポーツの「する」、「みる」、「ささえる」の目標を達成することができたが、目標数値を超えることができなかった。最盛期の令和元年と比較し、大きく減少している、トレーニングルームについては、同様の24時間営業の民間施設ができたことにより、客足が遠のいてしまったと分析できる。	B	4年間における、利用者目標を達成している年度が令和3年度のみだけである。しかしながら、4年間を相対的に見ると、令和3年度から6年度にかけて利用者人数が上昇しており、良い傾向が生まれていると考えられるため。	スポーツ課
	施設の貸し出しや指定管理者による自主講座等を実施します。				150,167	174,166	182,479	218,207					
34	スポーツ施設の有効活用	寒川町営プール、寒川町営さむかわテニスコート及び田端スポーツ公園では、指定管理者独自の自主事業を展開し、子どもから高齢者まで幅広い利用増を図る。	①開放日数 田端: 359日 倉見、川ふれ: 365日 町営さむかわテニスコート: 342日 町営プール: 62日 ②利用件数 田端: 1,663件 倉見: 808件 川ふれ: 1,993件 町営さむかわテニスコート: 3,257件 町営プール: 個人利用のみのため該当なし ③利用者数 田端: 47,652人 倉見: 7,327人 川ふれ: 15,818人 町営さむかわテニスコート: 14,376人 町営プール: 30,878人	年間利用者数(人) (倉見スポーツ公園、田端スポーツ公園、川とのふれあい公園、町営プール、さむかわ庭球場の総計)	88,000	91,000	95,000	98,000	A	目標数字を上回り、前年度と比較し数字が上がっていることが評価できる。特に庭球場については、夜間利用が令和5年度と比較し伸びており、町民及び町外在住者への認知度が広まっていると考えられる。 課題としては、川とのふれあい公園のサッカー場について、令和5年度に天然芝グラウンドとしてリニューアルしたが、維持管理のため週2回の養生期間を設けているため、利用コマ数が減少したことによる、利用者減が考えられる。	A	すべての年度において、目標人数が上回っており、4年間において、プール、町営テニスコート及び川とのふれあい公園サッカー場がリニューアルするなど、利用人数を落とさずに、利用者増につながっているため。	スポーツ課
	登録団体等への貸し出しや指定管理者による自主事業を実施します。				121,772	97,666	115,105	116,051					
35	学校体育施設の有効活用	学校体育施設等を地域の団体に開放し、学校施設の有効活用を図る。 ・体育館 小学校 4,026/6,710コマ≒60% ・体育館 中学校 646/1,077コマ≒60% ・グラウンド 小学校 951/1,585コマ≒60% ・グラウンド 中学校 368/614コマ≒60% ・南小学校ふれあいホール 805/1,342コマ≒60%	学校体育施設等を地域の団体に開放し、学校施設の有効活用を図る。 ▼体育館 小学校 4,799/5,436コマ≒88.3% ▼体育館 中学校 936/959コマ≒97.6% ▼グラウンド 小学校 997/1,446コマ≒69.0% ▼グラウンド 中学校 297/581コマ≒51.1% ▼南小学校ふれあいホール 178/1,077コマ≒16.5%	年間利用可能件数に対する利用率(%)	60.0	60.0	60.0	60.0	A	学校体育施設等を、学校教育に支障のない範囲で地域の団体に開放し、社会教育その他公共のために活用できた。 なお、令和6年度に公用等により開放を制限したコマ数は2,089。 全施設分を合計した平均利用率は75.9%となり、指標値を上回ったことからA評価とした。	A	前期計画では年間利用件数(件)を目標指標としており、令和2年度は感染症対策により利用件数が令和元年度までと比較して減少していた。今期計画(令和3~6年度)については目標指標を利用率としており、4年間とも目標数値を上回ることができたためA評価とした。	教育施設 給食課
	学校体育施設等を地域の団体に開放します。				65.5%	74.5%	72.7%	75.9%					
36	文書館の有効活用	311日開館します。開館時には、随時、閲覧およびレファレンス対応を行います。	▼閲覧件数 91件、380点 ▼レファレンス件数 281	年間利用者数(人)	542	547	552	557	C	学校の協力を得て企画展「もっと寒川を知ろう！」をPRしたり、図書館とのタイアップ事業を増やしたりするなど、新たな試みを行ったが、閲覧やレファレンスなどの利用に直結するまでには至らなかった。	C	閲覧とレファレンスの合計数は減少傾向にある。令和5年度に導入した資料検索システムの活用方法をさらにPRするなど、利用を促す工夫が必要である。	総務課
	館蔵資料の閲覧、レファレンスを行うとともに講座や企画展等を開催します。				510	445	420	372					
37	地域集会所の有効活用	地域集会所の指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会(地域集会所を所管する自治会を中心とした運営委員会の集合体)に委託し、出前講座などの事業を紹介することで、施設の有効活用を図る。また、自治会長連絡協議会との協働により、スマホ教室を開催する。	指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会に委託し、施設の有効活用を図った。 地域集会所にてスマホ体験教室を開催し、自治会事業等の活用を進めることが出来た。	年間利用件数(件)	3,700	3,700	3,700	3,700	B	成果: 寒川町公共施設再編計画による地域集会所の方向性について、年度内に地域集会所利用者アンケートを実施する等の方法で、現状や課題の把握に努めた。 自治連の協力の下、地域集会所にてスマホ体験教室の開催を行い、20名の方にご参加いただいた。 課題: 台風や豪雨による雨漏りの修繕や経年劣化による空調機の交換等が必要な集会所が多くある。また、令和8年度より蛍光灯の製造廃止に伴い、LED化を進める必要がある。	B	指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会に委託し、スマホ体験教室の開催や、各種サロン活動、自治会事業への活用など、各施設の利用率を高めた。 年に3~4会程度で地域集会所運営委員会連絡協議会を開催し、運営方針等を定めた。 各施設からの修繕要望に対して、緊急性を伴うものについて早急に対応した。	町民協働課
	地域住民活動での活用を図ります。				1,791	2,464	3,089	3,141					

【施策の方向4】学習環境の充実
【施策2】参加しやすくするための環境づくり

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
38	講座開催時の託児 の実施	講座内容により託児を実施す る。	講座内容に応じて、子育て中の 人が参加しやすくなるよう託児を 行った。	講座・教室等 での実施件 数(件)	45	45	50	50	C	託児は好評だが、当日の子どもの体調によ り急なキャンセルが多く、託児のスタッフの 人数調整が困難である。(子育て支援課) 公民館の短歌講座で保育付きで募集をした が、希望者がいなかった。(北部公民館)	C	子育て世代の学習活動に参加 しやすくなるようために託児が選 択できる機会が増えることが望 ましいが、託児に携わってくれる 人材の不足や、申し込みがあっ ても急なキャンセルが多いことな ど、円滑な実施が難しいことは 課題である。	子育て支援課 教育政策課 (公民館)
	子育て世代が学習 活動に参加しやす くなるよう、講座・教室 等の開催時に託 児を実施します。				2	5	6	10					
39	手話通訳・要約筆 記等の配置	講座内容により手話通訳・要約 筆記の派遣を実施する。	講座内容や参加者の状況に応 じて、手話通訳を配置した。	講座・教室等 での実施件 数(件)	10	10	10	10	C	講座で手話通訳2名の配置をしたが、聴覚障 がい者が3人であったため、グループディス カッションを行った際に、通訳が足りず、筆談 などでコミュニケーションを行った。(学び推 進課)	C	全ての人々が学習に参加しやすい 環境づくりを進めるため、手話通 訳や要約筆記の配置を実施して いく必要がある。	町民安全課 福祉課 健康づくり課 学び推進課
	障がい者が学習活 動に参加しやす くなるよう、講座・教室 等の開催時に手話 通訳や要約筆記等 を配置します。				6	5	14	4					
40	夜間・休日の講座 開催	講座内容により勤労者などの参 加しやすい時間帯、曜日で実施 する。	講座内容に応じて対象者が参 加しやすい平日の夜間や休日 に開催した。	平日夜間・休 日の講座・教 室等の開催 回数(回)	255	255	255	255	A	講習会や教室を、参加しやすい休日に実施 することで、多くの町民にご参加いただ いた。(スポーツ課)	A	町で開催されている講座、教室 等で休日開催は多くあり、目標 に概ね達成しているが、夜間開 催の事業はあまり多くない。勤 労世代などに焦点を定めている 事業などは夜間開催なども選択 肢として増えることが望ましい。	総務課 (文書館) 町民安全課 町民窓口課 子育て支援課 スポーツ課 福祉課 高齢介護課 健康づくり課 環境課 学び推進課 教育政策課 (公民館) (図書館)
	平日昼間に講座等 の学習活動に参加 することが困難な人 のために、平日夜 間や休日にも講座・ 教室等を開催しま す。				153	314	260	276					

41	講座開催時のアンケート調査の実施	開催する講座・教室において、参加者に対しアンケート調査を実施する。	講座・教室参加者にアンケート調査を実施した。	講座・教室等での実施件数(件)	250	250	250	250	A	電子アンケートを行い、町民が求めている事業展開ができるよう努めていく。(スポーツ課) 毎回アンケートを実施し、講座受講後の活動にもつながる工夫をしている。宿題おうえん自習室きんじろうルームでは、宿題をしに来る子どもの親に対してGoogleフォームを活用したアンケートを実施したところ、「日程がちょうどよい、ジュニアリーダーの皆さんとの楽しみの遊びの時間がとても良かった、また利用したい、家では宿題が進まないけど、きんじろうルームは宿題をするのにとっても良い、環境がいい」等の声が多数。また利用したいとの方が8割。(福祉課) 寒川町立の中学3年生に認知症サポーター養成講座を実施できた。アンケートではほとんどの方が「認知症の人や介護する人の気持ちが理解できた」との回答があった。(高齢介護課)	A	参加者の満足度や意見等を把握し今後の講座等の実施に活かしていくため、アンケート調査を実施していく必要があり、コロナ禍で開催事業が少なかった令和3年度以外は、目標値を大きく上回って達成している。	総務課 (文書館) 町民安全課 町民窓口課 子育て支援課 スポーツ課 福祉課 高齢介護課 健康づくり課 環境課 学び推進課 教育政策課 (公民館) (図書館)
	参加者の意見を聴取し、満足度や課題などを把握することで、参加しやすい環境づくりを推進するため、講座・教室等開催時にアンケート調査を実施します。				170	327	320	320					
42	インターネットを活用した参加申込	開催する講座・イベント等について、Eメールやホームページからの申し込みが出来るようにする。	講座・教室等の申し込みについて、Eメールやホームページ上からも行えるようにした。	講座・教室等での実施件数(件)	15	20	25	30	A	オンライン申請を初めて利用した。従来の電話・メール・窓口受付に加え、申込み手段を増やすことで周知につながった。(文書館) オンライン申請を可能とすることで、より多くの方へ周知することができ、参加者の増につながった。(町民安全課) LINEからの予約は参加者に好評だがリマインドの返信を実施していない事業もあるため、参加決定が不明確であることや対象者自身が申込みを忘れていたり課題である。(子育て支援課) 申込みについては、電子申請システム等を活用し、業務の効率化に努める(スポーツ課) 二次元コードから参加申し込みを受け付ける回数が増えている。Googleフォームで申し込みを受けるとその後の集計も効率が良く便利。認知症サポーター養成講座は、年度内の開催日程を一覧表にしたチラシを配布、加えて申込み近くになると町公式LINEから案内され、その案内に二次元コードで申し込みができるようにしてあり、一気に参加申し込みが増えるという流れが定着している。(福祉課) 広報の活用やSNSを活用した情報発信を行うことで定員割れは起きずに事業を実施することができた。(高齢介護課) 講座申込方法でオンライン申請を行ったが、高齢者の参加が多い場合は利用が少なかった。(学び推進課) 青少年対象や若い世代を対象とした事業は概ねオンライン申請を使用し、LINE配信による周知と併せて効果が出ている。(公民館) ※公民館事業のオンライン申請受付件数は未集計のため、実際の実施件数は多数にのぼる。	A	町公式LINEや電子申請システムの活用が増え、計画期間内で全て目標値を上回っている。電子申請については、運営側の事務の効率化も図れる上、利用者側もこれまでの窓口や電話など受付時間を気にせず24時間申込みができることで利便性が高い。また町公式LINEと連携することで、配信後すぐにスマホ等で申込みが可能であることで、申込者が増加する成果も出ている。	総務課 (文書館) 町民安全課 町民窓口課 子育て支援課 スポーツ課 福祉課 高齢介護課 健康づくり課 学び推進課 教育政策課 (公民館) (図書館)
	講座・教室等の開催時にEメールやホームページからの申し込みなど、インターネットを活用した申込受付を実施します。				39	※33以上	※32以上	※86以上					

【施策の方向4】学習環境の充実
【施策3】関係機関との連携による学習の支援

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5	R6					
43	県、各自治体、専門 機関との連携	湘南広域都市行政協議会広域 文化活動部会において、藤沢 市、茅ヶ崎市と連携し、令和5年 度を実施したアンケートの結果 分析を行うとともに、若い世代の クリエイターや文化団体へのア プローチを行いながら、将来的 には既存団体や若い世代それ ぞれの交流の実施に向けて取り 組んでいく。	令和5年度の広域文化活動部 会では、各市町の文化行政の 在り方について情報交換を行っ たり、各市町で抱える課題を洗 い出し意見交換をしたりするな ど、今後部会で取り組むべき課 題について整理し、検討を行っ た。	連携事業数 (件)	2	2	2	2	D	事業実施に向けた検討を重ね、広域文化活 動部会の新規事業の方向性は令和5年度 のアンケート調査の分析から、既存団体の 支援ではなく、若い世代の交流支援につ いて令和7年度から実施を目指し協議を行っ た。	C	コロナ禍の影響で広域文化活動 部会の事業実施を休止し、計画 期間中は具体的な事業の再開 はなかったが、今後の事業検討 をする上で、既存の文化団体向 けか、新たなターゲットに向けて アプローチするか、方向性が定 まっていなかったことから、令和 5年度は既存団体が何を望んで いるのかアンケート調査を実施 し、団体の現状把握を行った。 各市町で繋がりのある文化団体 を対象を限定し、調査項目は、 SNSの活用の特化した内容とし たが、集計結果により、既存団 体はSNSの活用に対して消極的 であることが判明した。この結果 からは、既存団体をターゲットと してSNSに関して今後の事業を 進めることが難しいため、新た なターゲットとして若い世代のク リエイターや文化団体へ向けた事 業を令和7年度以降実施を計画 している。	学び推進課
	県や周辺自治体、 専門機関等と連携 し、町民の学習支 援体制の充実を図 ります。				1	0	0	0					
44	大学等の教育機関 との連携	2～3月に文教大学の教授等を 講師とした「文教大学出張講座」 を開催する。	【令和6年度文教大学出張講 座】 テーマ:「毎日をハッピーに ウェ ルネスライフ！」 ～ポジティブな生活習慣で健康 ＝健幸を手に入れよう～ ・日時 令和6年3月22日(土) 午後2時～4時 ・参加者 13名 ・講師:文教大学人間科学部人 間科学科 教授 宮田浩二氏 ・手話通訳2名配置	連携事業数 (件)	1	1	1	1	A	事前の申し込み者は16名であり、昨年度に 比べて大幅に増加した。当日の欠席者がい たことは残念であったが、想定範囲の人数で あった。健康に関する内容であったため、特 に高齢世代の女性の参加が多かった。講師 の宮田先生のお話は大変分かりやすく、和 やかな雰囲気の中で講座を進めることがで きた。グループでの話し合いや簡単な運動な ど、盛りだくさんの内容で、受講者アンケート の結果をみても、好評だったと思われる。 また、聴覚障がい者に配慮した内容(202 5デフリンピックが日本で初めて開催される) を取り上げていただき、大変有意義な機会と なった。	A	大学等の教育機関と連携した講 座づくりについて、講演会形式 は設定したテーマにより参加人 数が少ない場合もあるが、地域 において多様な学習機会を提供 し、社会的課題について学ぶこ とができる事業は必要であるこ とから、今後も継続する。	学び推進課
	大学等の教育機関 と連携し、町民の学 習支援体制の充実 を図ります。				0	1	1	1					

【基本目標2】「活かす」学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向1】学習成果を発表する機会の充実

【施策1】学習成果を発表する場の提供

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告					R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課	
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値 下段:実績値								
					R3	R4	R5						R6
45	文化祭の開催	第55回寒川町文化祭を町民センター及び南部文化福祉会館で開催する。 (開催期間:10/5~11/4)	【第55回寒川町文化祭】 ▼キャッチコピー「見て触れて心が感動 文化祭」 応募総数:242人、292作品 ▼開催期間 10/5(土)~11/3(日) 29日間 ▼参加者及び見学者数 4,369人 ▼事業数 19(10/5の式典含む)	参加者及び見学者数 (人)	7,000	7,000	7,000	7,000	B	参加団体は18(1団体が不参加)で、参加者数及び見学者数は目標値に届かなかったが、前年度より増加しており、B評価となった。参加団体の日頃の活動の成果を発表できたことは、会員のモチベーションの維持にもつながったと考えられる。イベントが複数ある日程においては、集客が見込めるが、単独でのイベントであると見学者が少なくなってしまう傾向があるため、今後は開催期間を短くしても、イベントを同日にまとめていくことを検討していきたい。また、幅広い世代の集客につながるようSNSを活用し、周知に力をいれていきたい。	C	寒川町文化祭は町内の文化団体や一般参加の個人が成果を発表の場として長年の事業実績はあるが、コロナ禍による開催中止や参加団体の縮小による開催日数の減少により、計画期間の全ての年度で目標数値の70%に達することができなかった。内容や周知に更なる工夫、改善が必要であると考え。	学び推進課
	文化祭を開催し、文化芸術活動の成果を発表する場を提供します。				0	4,425	4,369	4,927					
46	公民館まつり等の開催	【町民センター】さむかわダンスフェスティバル、さむかわ合唱祭、さむかわ音楽祭 【町民センター、北部公民館、南部公民館共通】公民館まつり、だかしや楽校	▼サークル入会体験フェスタ【3館共通】 実施①:5月1~31日、参加者数:23人 サークル新規加入者数:12人 実施②:11月1日~30日、参加者数:19人、サークル新規加入者数:10人 ▼公民館まつり 【町民センター】3/8、9/来館者1400人 【北部公民館】3/22、23/来館者1600人 【南部公民館】3/15、16/来館者1429人 ▼だかしや楽校 【南部公民館】10/27、参加者50人 【町民センター】12/8、参加者114人 ▼ブルースハーブ・ライブ・セッション、5/25、209人(公民館サークル参加) ▼さむかわダンスフェスティバル、7/27、513人(11団体参加) ▼さむかわ音楽祭、10/26~27、800人(16団体参加) ※さむかわ合唱祭、9/1(台風のため開催中止)	発表する場の提供数 (件)	8	8	8	8	A	公民館まつりで、コロナ禍の時期は見送っていた模擬店やバザーなどが再開されたことにより、各館ともに多くの来館者があり、賑わいが見られた。ダンスフェスティバル、音楽祭も公民館サークルなど地域で活動する町民が発表する機会の提供ができた。だかしや楽校の町民センター会場は令和5年度の参加者332人から大幅に減少したが、100人程度であれば会場も混雑せず、各ブースの体験活動も余裕をもって指導ができ、適性な人数であることが感じられた。	A	サークルに参加するきっかけづくりや学習成果を披露する機会を安定的に提供できている。	教育政策課 (公民館)
	公民館まつりやダンスフェスティバル、だかしや楽校等を開催し、町民が学習成果を発表する場を提供します。				10	11	11	10					

【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策1】ボランティアの育成・活動支援

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告					R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課	
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値								
					R3	R4	R5						R6
47	福祉ボランティアの 育成・活動促進	各種ボランティア講座の開催、 ボランティア体験会(対象:町内 在住の小学生・中学生・高校 生)、ボランティア学びあい講 座、宿題応援自習室 きんじろ うルーム(対象:小学生)、寒川町 シニアげんきポイント事業説明 会(対象:町内在住65歳以上で 要介護認定を受けていない方) 会、ボランティア交流会(対象: ボランティア登録者)、ふれあ い・いきいきサロン(子育てサロ ン・障がい児者サロン)の開催、 おもちゃ病院の開催、寒川町ボ ランティア連絡協議会としての 活動、寒川町ふれあい福祉フェ スティバル等の開催等	▼ボランティア体験会(ボラン ティアは7団体55人で子どもの学 びをサポート、その他、個人 のボランティアが移動や学 びをサポート、同じ内容を 3クール実施し、毎回子ども が全員入れ替わり、体験参 加者は49名)▼各種ボラン ティア学びあい講座(ボラン ティア学びあい講座、3日 間、全7つのプログラムを 実施、受講12名、ボラン ティア登録を完了した方4 名)▼シニアげんきポイント 説明会(1回、参加者5名、 3名が活動者登録完了)、 ふれあい福祉フェスティ バル(体育館で開催、出 店37団体、パフォーマンス エリア出演7団体、来場 者数1,900人)▼ボラン ティア交流会(2回開催、 合計60名の参加)▼ボ ランティア活動室の利用 293件▼地域活動応援 ルーム(地域で活動する 方の活動・交流拠点、利 用者107名)▼ボラン ティア活動のべ人数 1915人▼ボラン ティア相談42件▼ボ ランティアグループ立 ち上げ支援▼新規の ボランティア登録11 名▼寒川町ボラン ティア連絡協議 会の活動支援	社会福祉協 議会ボラン ティアセン ターの個人 登録ボラン ティアの登 録者数(人)	150	150	150	150	A	コロナが5類になり、ボラン ティア活動も活発 になってきました。より多 くのボランティア活 動の場を社協ボラン ティアセンターとして 新たに企画したり、ボ ランティア活動室や地 域活動応援ルームの 利活用を促進する取 組みをしました。今後 も、ボランティア活 動の裾野を広げ、ボ ランティア活動が活 発に展開されるよう に取り組めます。	A	コロナ禍を含む期間 で、一時期は多くの ボランティア活動が 中止や活動方法の 変更をせざるをえ ない状況でした。そ のような状況下で は、ボランティア登 録している方のモ チベーションの維 持が難しい状況が ありましたが、広 報物の工夫や発信 を行うなどして、 ボランティアさん と社協ボラン ティアセンターの 気持ちをつなが り維持しながら、 皆で乗り越えて きました。また、 コロナ禍での対 応の創意工夫や オンラインの活 用等は、現在も 活発に使える ツールとなっ ていて、より 広報活動が充 実しました。取 組みの1つ1つ から、確実に、 着実に、ボラン ティア活動につ ながる方を増 やしています。 今後も、ボ ランティア活 動の裾野を広 げ、ボラン ティア活動が 活発に展開 されるよう 取り組めます。	福祉課(社会 福祉協議会)
	地域で福祉活動に 関わる人材やボ ランティアの育 成や活動支援 をします。			125	141	138	143						
48	健康運動ボラン ティアの地域活 動の支援	健康運動ボラン ティア養成講座 は、次の日程で 開催予定。 6月13日(木)、 27日(木)、7月 2日(火)、10日 (水)、24日(水)、 31日(水) 7月2日は、養 成と育成を兼 ねた講座を実 施予定	全6回すべて 実施。延べ参 加人数24人。 4人が健康運 動ボラン ティアに加入。	健康運動ボ ランティアの 地域活動の 実施回数 (回)	45	45	45	45	B	昨年度に引き 続き年6回開 催した健康運 動ボラン ティア養成 講座につい て、昨年度 は新たな健 康運動ボ ランティア 加入者が1 名だったが 、今年度は 4名とな った。今後 も加入者の 増加につ いての検討 が必要。ま た、健康運 動ボラン ティアの活 動につい て、就労 しながら 活動して いる方や ボラン ティアに 時間を かけられ る人数が 減ってき ている。実 際に活動 できるボ ランティア の育成も 課題。	C	健康運動ボ ランティア の新規加 入者は令 和5年度 に1名、令 和6年度 に4名で あり、会 員数の増 加には至 っていな い。ボラ ンティア 活動の魅 力の発信 など、健 康運動 ボラン ティアの 会員数を 増やす ための周 知方法を 検討して いく。	健康づくり 課
	地域での健康 づくり推 進のため、 健康運動 ボラン ティアの 育成や 活動支 援をしま す。				0	44	40	38					
49	図書館ボラン ティアの育成 ・活動促進	【総合図書 館】ジュニア 司書活動、 読み聞かせ ボランティア 、書架整理 ボラン ティア活 動、ボラン ティア全 体会	おはなし会 ボラン ティア 令和6年度 登録者数: 12人 全体会: 8/23、11 人参加、 3/7、12 人参加 活動回数: 29回、延 べ63人 参加 おはなし 会よみか せ講座(育 成研修 会):2/15 開催、17 人参加 配架書架 整理ボ ランティア 令和6年度 登録者数: 24人 全体会: 4/21、6 人参加 活動回数: 99回、延 べ379人 参加	ボラン ティア の登録者 数(人)	35	35	40	40	A	コロナ禍以 降、登録者 数は減少 していた が、おは なし会ボ ランティア は読み聞 かせ講座 の参加者 から新規 ボラン ティア登 録を得る ことが できた。配 架書架整 理ボラン ティアは 活動の認 知が低い ことから 、登録者 が減少し ていた が、令和 6年度に ボラン ティア募 集と説明 会を兼ね た全体会 を町公式 LINEで 周知を行 ったと ころ、新 規参加者 が増加 した。今 後も町民 との協働 を考 える上 で、ボ ラン ティア活 動の充 実、活 動の周 知、育 成に努 める。	B	令和6年度 は周知の 工夫によ りボラン ティア登 録者が 増加し、 目標値 の90% まで回 復でき た。今 後もボ ラン ティア の新規 登録促 進と、登 録後も 継続し て活動 を続け てもら えるよ うに育 成に努 める必 要があ る。	教育政策 課(図書 館)
	町民と協働 する開 かれた 図書 館を 目指 し、図 書ボ ラン ティア の育 成や 活動 支 援を しま す。				26	20	21	36					
50	文書館ボラン ティアの育成 ・活動促進	従来から行 ってきた 写真整 理の作 業は一 段落し たため 、当面 の作業 は休止 しま すが、 新たな ボラン ティア の育成 や連 携の あり 方につ いて 検討 して まい りま す。	従来より 行っ てきた 写真 整理 作業 が完 結し てお り、 今年 度に つい ても 実施 は見 送 った。	ボラン ティア の登録 者数 (人)	6	6	6	6	D	新たな事 業内容 につ いて 検討 して いく 必要 があ る。	C	新型コ ロナウ イル スに よる 中断 もあ って、 新た なボ ラン ティア との 協力 関係 を構 築す るま では 至ら な かつ た。	総務課
	文書館 での 新聞 、写 真な どの 資料 整理 や展 示準 備な どの ボ ラン ティア の育 成と 活動 支 援を しま す				0	0	0	0					

【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策2】人材育成・活用の促進

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値								
					下段:実績値								
				R3	R4	R5	R6						
51	生涯学習人材登録 制度の拡充	生涯学習人材登録制度「ステッ プ・アップ」の登録メニュー紹介 の作成や制度のPRを目的とし た登録講師の自主企画講座の 支援を行う。	「ステップ・アップ」の登録者に対 して内容や更新等の調査を行 い、登録メニューを紹介したチラ シを作成。町ホームページにお いて公開し、各施設に配架をし た。 登録講師による自主企画講座9 講座を実施した。 対人関係を改善！伝わるコミュ ニケーション講座、レカンフラ ワー講座、ミツヴァテクニク(姿 勢法)、多肉植物ワークショッ プ、朝顔を描く、傾聴講座、書道 入門、初めてのパッチワーク、 芝三光の江戸しぐさに学ぶ	人材登録制 度登録者数 (人)	35	37	39	40	B	登録者は昨年度よりも4名増加した。 登録講師による自主企画講座「ステッ プ・アップPR講座」を8講座実施する ことができた。自主企画講座は登録者 にとって今後の活動へ活かすきっかけ づくりとなることから、年間を通し て実施にむけた支援を行っていく。	B	計画期間内に目標数値までは 達成はしなかったが、70%以上 であり、登録者数は微増傾向に ある。 登録メニュー紹介や登録者募集 のチラシを作成し、生涯学習活 動に意欲のある方を学習機会を 求めている方に紹介することが できた。制度のPRを目的とした 登録講師の自主企画講座の支 援を行うことができた。	学び推進課
	地域で知識、技能、 指導補助等の意欲 のある方を登録し、 講師紹介や自主企 画講座実施等の支 援をします。				31	28	32	36					
52	生涯学習支援者研 修の開催	生涯学習人材登録制度登録者 に対し、様々な方法や手段を検 討して、研修の機会を提供す る。	令和6年度生涯学習指導者研修 開催日：令和7年3月17日(月)午 後2～4時 会場：寒川町役場 東分庁舎第 2・第3会議室 講師：株式会社エンピツ・グラ フィックス 代表 池山 悦朗氏 内容：講座を実施するうえで重 要となる広報活動において、有 効なデザインの考 え方やコツ、チラシやポスターの 作成方法を学ぶ。 参加者：8人	研修の開催 回数(回)	1	1	1	1	A	令和3年度以降、人材登録者に対して研修 の機会を提供できていなかったが、令和6年 度は、講座を開催する際に必須となる効果 的なチラシの作成方法やデザインについて 学習する研修を開催した。今後も、登録者の スキルアップや活動の支援を行っていく。	B	令和6年度はステップアップ登 録者が講座を企画する際に効 果的に情報発信ができる支援を 目指し、研修会を実施した。登 録者同士が交流することで、人 脈や情報が広がる効果もあるこ とから、今後も継続して実施す る。	学び推進課
	生涯学習人材登録 制度登録者等の地 域で生涯学習を推 進する人を対象に 研修機会を提供し ます。				0	0	0	1					

【基本目標3】「つながる」 学びでつながる生涯学習

【施策の方向1】まちづくりにつながる学習機会の充実

【施策1】地域やまちを知る学習機会の提供

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値								
					R3	R4	R5	R6					
53	文書館保存資料活用事業	古文書講座(5回)、講演会(1回)、企画展示(1回)、ミニ展示(1回)、バックヤードツアー(4回)を実施する予定です。	▼古文書講座(令和6年7~12月まで計5回)を開催した。 ▼講演会「戊辰戦争と地域社会」(8月11日)を開催した。 ▼企画展示「もっと寒川を知ろう！」(令和6年7月30日~12月28日)を開催した。また、展示説明会を2回実施した(令和6年10月19日・27日)。 ▼ミニ展示「巳年のできごと」を開催した。(令和7年1月18日~3月30日) ▼図書館まつりの参加企画としてバックヤードツアーを開催した(令和6年10月27日に3回実施)。 ▼図書館との共催事業「回想サロン」を2回開催した。(10月3日・3月13日)	講座・展示等の開催回数(回)	12	12	12	12	A	・古文書講座の会場を、図書館会議室から町民センターに変更した結果、参加者数は微増した。 ・令和5年度から、総合図書館主催の「図書館まつり」に参加している。当日は、バックヤードツアー、クイズラリーに加え、今年は展示説明会も同日に行った。普段の利用者層とは違う方も多く訪れ、文書館の認知度向上につながった。次年度以降も継続して参加していきたい。	A	令和3年度は新型コロナウイルスの影響が残り、古文書講座の回数を減らしたり、企画展をWEB展示に変更したりするなどの対応を迫られたが、令和4年度からは予定どおり事業を実施することができた。特に企画展は、梶原景時、関東大震災、学校給食とタイムリーな話題を提供することができた。また総合図書館との新たな連携事業も実施するなど、より多くの方に学びの機会を提供することができた。	総務課
	寒川地域に関する記録資料を調査、収集、整理、保存し、利用に供するとともに、資料を用いた普及活動を行います。				6	13	10	15					
54	文化財学習センター事業	5月:考古学講座 6月:布ぞうり作り教室(公民館共催) 11月:遺跡発表会 12月:お飾り講習会(公民館共催)	▼考古学講座(全3回)5/25、6/1、6/8 36人 ▼布ぞうり作り教室6/29 15人 ▼遺跡発表講演会11/2 34人 ▼お飾り講習会12/15 20人 ▼町民センター出張展示 3月 ▼観光協会出張展示 通年	講座・展示等の開催回数(回)	8	8	8	8	A	講座内容については例年変更等あるが、開催数については予定通りである。主催共催事業以外にも、各団体と協力連携をし文化財保護に関する普及啓発事業を促進している。	A	各年度予定通り実施できている。また文化財保護に対する普及啓発事業自体は各団体と協力連携することにより増加している。	教育政策課
	文化財の整理保存、修復を行い、展示等の公開事業や企画展、各種普及啓発事業を実施します。	3月:祭りばやし講座(公民館共催)・遺跡見学会 2-3月頃:出張展示 通年:観光協会出張展示			8	8	8	8					
55	さむかわ出前講座の実施	各課の協力を得て出前講座の学習メニューを作成し、町民で構成される団体やグループの依頼に応じて、町職員を講師として派遣する。	「さむかわ出前講座」の学習メニューを発行し、6分野26講座を掲載した。 団体から派遣依頼を受け、各課等の協力により合計29回実施した。 (参加者数:のべ930人)	派遣回数(回)	10	10	10	10	A	多くの団体に対して希望した講座への講師派遣を行い、実施回数は令和5年度同様に目標を大幅に上回って達成することができた。町内の各団体において出前講座の認知度が上がってきたといえる。依頼団体の受講後の感想も好評であった。引き続き、各課の協力を得て、町民に対して学習機会の提供を行うことができるよう講座を実施していきたい。	A	令和5年度以降、大幅に利用を延ばし、とくに各地区のシニアクラブからの依頼が増えており、毎月の活動メニューを考える時に前講座を利用することが浸透してきたことが感じられる。どこに声をかけてよいか悩む時に前講座という制度を利用してもらうことで、町民にも啓発したい所管課にも双方にメリットが生まれている。	学び推進課
	町民と行政が共に学びながらまちづくりを推進するために、団体等の依頼に応じ、学習を目的とした集会等に町職員を講師として派遣します。				6	14	28	29					

【施策の方向2】まちづくりにつながる活動の支援

【施策1】活動団体への支援

NO	事業名	6年度実行計画	6年度事業報告						R6 評価	事業の成果・課題等	第2次プラン(4 年間)の評価	第2次プラン(4年間)の評価の理 由	令和6年度 担当課
	事業内容		6年度実施状況	目標指標 (単位)	上段:目標数値								
					下段:実績値								
				R3	R4	R5	R6						
56	地域子育て環境づくり支援事業	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力(補助)を行います。	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う2団体に対し補助を行った。	実施団体数 (団体)	2	2	2	2	A	「小谷こどもカフェ」(こども食堂)及び「特定非営利活動法人赤ちゃん食堂プロジェクトまな」(赤ちゃん食堂)の2事業について支援を決定し、補助を行った。	A	子育て支援に関する事業を行う団体の活動を支えることで地域で子育てをする環境の醸成につながったことからA評価とする。	子育て支援課
	2				3	2	2						
57	文化団体の育成・活動促進	町文化連盟への補助金支出や文化団体の広報活動への協力等を行い、団体の活動を支援する。	▼町文化連盟へ補助金を支出し、文化連盟や加盟団体の活動を支援した。 また、活動場所や広報活動の支援を行った。 ▼さむかわ文化ふれあいデー 開催日:令和6年7月20日(土) 会場:町民センター 延べ945人参加	文化連盟の 会員数(人)	1,100	1,100	1,100	1,100	C	文化連盟に加盟する団体の活動を支援することにより、町内の文化活動の推進、地域文化の振興を図った。 コロナ禍後、2年続けて文化祭を開催することができ、団体や会員のモチベーション維持につながった。しかしながら、会員の高齢化等により、文化連盟の会員数の減少が続いている。引き続き、幅広い年齢層の参加や地域文化を継承していくことができるよう、SNSなどを活用し活動の支援を行っていく。	C	会員数は年々減少傾向にあり、各団体の役員や会員の高齢化が課題である。若い世代に地域の団体活動への参加をよびかけ、円滑に継承できる工夫が必要である。	学び推進課
	地域文化の振興及び継承ができるよう、文化団体の育成や活動支援をします。				891	798	748	743					
58	国際交流団体の育成・活動促進	さむかわ国際交流協会が実施する国際交流・国際理解に関する活動を支援する。	年間を通して、日本語教室の春コース・秋コースを開催し、希望者に対して託児も行った。 近年、国際交流協会の活動のあり方について会員内で齟齬が生じており、協議の上、令和6年度活動をもって国際交流協会の解散が決定した。	国際交流団 体の会員数 (人)	45	45	45	45	C	さむかわ国際交流協会の事業としては、コロナ禍後も交流自体を行うことが難しく、日本語教室以外の活動を行うことができなかった。 協会が解散することにより、国際交流に携わる地域の担い手が離散してしまい、町内で生活を送る様々な国の人々との共生について、これまで国際交流協会が関わってくれた役割を町がどのように担っていくかが課題である。	C	国際交流協会が解散を選択したことについて、団体育成や支援の在り方が十分ではなかったことが考えられる。	学び推進課
	国際化の推進を図るため、国際交流を行う団体の育成や活動支援をします。				27	25	29	29					
59	スポーツ団体の育成・活動促進	9月実施予定のレクリエーションフェスティバルは、町民誰でも参加できるように開催予定。 バドミントン、グラウンドゴルフ、民謡など幅広く気軽に参加できるイベントを実施予定。	▼地域スポーツ推進の軸となる2団体(寒川町スポーツ協会と寒川町レクリエーション協会)へ事業補助を実施し、円滑に事業運営ができるよう努めた。 ・スポーツ協会:1,190,000円 ・レクリエーション協会:125,000円 ▼会員数が減少している団体について、担当者と打合せを行い、町のHP等の広報媒体を活用し、情報周知に努めた。 ▼観桜駅伝競走大会、レクリエーションフェスティバル、さむかわスポーツデイ等のイベントを通じて、町民に対し、スポーツに親しむ機会の提供及び町スポーツ団体の周知を図った。	スポーツ団 体の会員数 (人)	5,500	5,500	5,500	5,500	C	各団体高齢化が進み、運営する担い手が限られてきており、団体の継続が困難な状況になりつつあるケースが見受けられる。 コロナウイルスの影響も小さくなり、町が、各スポーツ団体と協力して行うスポーツ推進等イベントも復活することができた。そのようなイベントを通じて、町民の方々に対し、町のスポーツ団体への参加周知・啓発を行っていく。	C	目標人数において、達成できた年度がなく、4年間を相対的に見て団体会員数が減少傾向にあるため。 このような中で、今後町民が会員として活動するきっかけづくりを行っていく必要があると考えられる。	スポーツ課
	スポーツ活動の推進を図るため、団体の育成や活動支援をします。				5,268	5,380	5,358	4996					

60	環境団体の育成・活動促進	<p><目久尻川クリーン作戦> 実施日:全8回 4/20(土)、6/15(土)、9/21(土)、10/19(土)、11/16(土)、12/21(土)、1/18(土)、2/15(土) 人数:各回25~30人程度</p> <p><川の生き物調査隊> 実施日:7/27(土) 予定 定員:25人</p> <p><野鳥観察会> 実施日:1/25(土) 予定 定員:25人</p> <p><自然観察の森での環境学習会> 実施日:3/1(土) 予定 定員:25人</p> <p>※荒天等の状況により中止となる場合があります。</p>	<p><目久尻川クリーン作戦> 実施日:全8回 4/20(土)33名、6/15(土)23名、9/21(土)22名、10/19(土)28名、11/16(土)24名、12/21(土)26名、1/18(土)28名、2/15(土)32名 参加人数:各回25~30人程度 合計:216名</p> <p><川の生き物調査隊> 実施日:7/27(土) 参加人数:30名</p> <p><野鳥観察会> 実施日:1/25(土) 参加人数:24人</p> <p><自然観察の森での環境学習会> 実施日:3/1(土) 定員:20人</p>	さむかわエコネット主催事業及び町との共催事業の参加者数(人)	250	260	270	280	A	天候にも恵まれ、ほとんどの事業を開催することができた。全体的に多くの町民に参加していただいた。今後も幅広い世代の方々に様々な事業に参加していただけるよう周知に努めていきたい。	B	令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者の確保が困難であったものの、令和4年度以降は目標を達成しており、環境団体の育成や活動の支援を図ることができた。	環境課
	環境問題の認識を深めるため、環境団体の育成や活動支援をします。		169	271	257	290							
61	自主防災組織の育成・活動促進	各地域の自主防災組織が実施する防災訓練を支援します。	各自主防災組織において訓練を実施した。 自主防災組織訓練を実施した自治会(15自治会、延べ19回) 参加者計:2,870人	訓練・研修会への参加者数(人)	2,750	2,750	2,750	2,750	A	能登半島地震や南海トラフ地震などの影響で、参加人数が目標値を上回ることができた。 未実施の自治会もあるため、引き続き実施を促していく。	B	R3はコロナ禍ということもあり、訓練参加人数が目標値を大きく下回ったが、R4~R6にかけて参加人数が徐々に増加し、各自主防災組織の防災意識の高まりを感じることもできたため。	町民安全課
	防災対策の普及啓発を図るため、自治会に組織されている自主防災組織の活動を支援します。				863	1,685	1,543	2,870					
62	緑化推進団体の育成・活動促進	定期的に公園を利用している方に直接制度等の紹介を行うとともにHPやSNS等の情報発信ツールによる積極的な周知活動を継続し、新規公園愛護会の設立や活動公園等数の増加につなげる。	町ホームページで周知するとともに、産業まつり時に行っている緑化フェアで周知し、新規に1団体増え、既存の団体も1公園活動場所を増やした。	協働による公園愛護活動を行う団体の登録数(団体)	9	12	15	18	B	愛護会の活動により、公園がきれいに保たれた。 引続き各愛護会において発展的な公園の利活用が行われた(季節の行事に関する手作りオブジェの展示や公園内の植物の案内掲示等) 新規団体の設立を促進するためには、町広報等の全体的な配信では限界があることから、地域に根差した活動を行っている団体等へのアプローチを行っていく。	C	町広報での特集や緑化フェア時に周知するなど、色々な場面で活動の周知、報告等を行ったが、目標には届かなかった。	都市計画課
	町民に親しまれる身近な緑の空間である公園や緑地・緑道の運用やあり方について、町民との協働で維持管理を行う体制を整えることで、町民主体で整備や維持管理を実施していくことができる体制づくりを行います。				9	11	11	13					

63	ボランティア活動促進事業		町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、町ホームページや広報紙、町SNSで活動内容等を紹介した。併せて、本庁舎1階デジタルサイネージにて周知動画を作成し放映した。 また、問い合わせに応じて登録団体等の紹介を行い、町民とボランティア活動団体を繋げる役割を果たすと共に、団体への情報提供にも努めた。 他に、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される湘南市民活動広域連携協議会において、地域活動等に関する情報交換を行う。	「寒川町町民ボランティア団体等登録制度」ホームページ訪問数(件)	300	300	300	300	A	成果:広報紙、町SNSにて活動を紹介する際に、町ホームページへのリンクを添付することで、目標数値を大きく上回ることができ、団体等の活動の情報発信に寄与出来たと考える。 課題:新規登録ボランティアはある一方で、団体内の構成員数が減少傾向にあり、活動内容も縮小されている。	A	町内における地域活動について、コロナ禍では活動の縮小が見られたが、事業としては社会情勢に沿った周知の仕方が出来た。 コロナ禍以降、町HPのリニューアルや公式SNSを活用した団体及び活動紹介から、ホームページ訪問者数は増加傾向となった。 会員の高齢化による団体の解散がある一方で、若い世代の団体発足も見受けられた。	町民協働課
	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、活動促進及び情報の共有化、町民のまちづくりへの参加を促進します。			280	1419	1769	2,240						
64	公民館サークルの育成・活動促進		▼サークル入会体験フェスタ【3館共通】 実施①:5月1~31日、参加者数:23人 サークル新規加入者数:12人 実施②:11月1日~30日、参加者数:19人、サークル新規加入者数:10人 ▼公民館まつり【町民センター】3/8、9/来館者1400人 【南部公民館】3/15、16/来館者1429人 【北部公民館】3/22、23/来館者1600人	公民館利用者の会登録団体数(団体)	180	185	190	195	B	公民館利用者の会登録団体数は会員が高齢者で人数が少ない団体の解散による減少が加速した。公民館講座を契機とした新サークル結成も増えてはいるが、全体数は減となった。今後は既存サークルへの加入支援と、新規サークル結成の支援を両輪で推進していく。	B	かねてより公民館サークルの高齢化、固定化が課題であったが、コロナ禍以降、サークルの解散や利用者の会退会が加速した。公民館講座をきっかけに新規サークル育成に努めているが、増加より減少の方が進行している状況である。	教育政策課(公民館)
	公民館利用者層の拡大につながるよう公民館サークルの育成や活動支援をします。	【町民センター、北部公民館、南部公民館共通】 サークル入会体験フェスタ、サークル作品展示・ワークショップ(5月・11月)		177	171	175	163						
65	協働事業提案制度推進事業	令和5年度実施事業について、事業実績報告会を4月末に開催する。 令和6年度実施事業については、補助金を交付し、団体と事業協力課が事業を実施。随時、進捗状況の確認を行う。 令和7年度実施事業については、事前相談募集(4月~6月)、募集期間(7~8月30日)、協働事業選考委員会による審査(10月)を経て、提案事業を採択。結果に基づき、予算要求を行う。	令和5年度に採択された事業について、令和6年度に1事業を実施した。4月に実績報告会を開催し、事業報告と今後の活動への助言を行った。	協働事業提案制度相談回数(回)	1	1	1	1	A	成果:令和6年度は、目標数値である1団体が事業を実施。数としては多くないが、事業内容は町では今までに例が無い内容となった。6年度事業は、障がい者、高齢者、健常者、みんなが参加できるフェンシングの体験会等の共生スポーツの推進を図る事業を実施した。 課題:提案団体の相談や提案件数が減少しており、令和7年度実施事業についてはなしという結果になった。協働事業実施への新規団体の発掘に苦慮している。	B	協働事業提案制度について、相談件数が減少傾向にあり、それに伴い実施事業も減少している。 多様な課題に向けた協働事業の実施があったが、新規提案団体の発掘が必要となる。 広報紙やSNS、デジタルサイネージ等による制度の周知を今後も引き続き行う必要がある。	町民協働課
	地域の身近な公共的課題などの解決に向けて提案された町民と町との協働事業に対して事業協力(補助)を行います。			4	3	1	1						

【事業担当課共通の実績報告】

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】 学習環境の充実

【施策2】 参加しやすくするための環境づくり

担当課	講座・教室等の開催有無	開催数合計	事業No.38		事業No.39				事業No.40		事業No.41	事業No.42	事業の成果・課題等	
			託児		手話通訳		要約筆記		夜間	休日	アンケート	インターネット		
			実績	実施	実績	実施	実績	実施						
1	広報戦略課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2	総務課	有	7	0	0	0	0	0	0	6	4	2	オンライン申請を初めて利用した。従来の電話・メール・窓口受付に加え、申込み手段を増やすことで周知につながった。	
3	町民協働課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4	町民安全課	有	31	0	0	1	1	0	0	5	8	3	オンライン申請を可能とすることで、より多くの方へ周知することができ、参加者の増につながった。	
5	町民窓口課	有	9	0	0	0	0	0	0	3	7	7	初心者向けスマートフォン教室は、デジタル推進課と連携することで、昨年度より開催回数を増やすことができたため参加者の増につながった。	
6	子育て支援課	有	101	10	10	0	0	0	0	5	58	30	新型コロナウイルスが5類に移行され、予約を不要とした事業もある。またLINEからの予約は参加者に好評だがリマインドの返信を実施していない事業もあるため、参加決定が不明確であることや対象者自身が申込みを忘れていたりすることがあり課題である。 託児は好評だが、当日の子どもの体調により急なキャンセルが多く、託児のスタッフの人数調整が困難である。	
7	スポーツ課	有	8	0	0	0	0	0	0	8	3	2	講習会や教室を、参加しやすい休日に実施することで、多くの町民にご参加いただいた。 申込みについては、電子申請システム等を活用し、業務の効率化に努めるとともに、電子アンケートを行い、町民が求めている事業展開ができるよう努めていく。 また、トランポリン教室では、町内企業と連携することで、町民に対し町内運動施設の利用促進等をはかることができた。	
8	福祉課 (社会福祉協議会)	有	70	0	0	1	1	0	0	2	8	43	22	▼二次元コードから参加申し込みを受け付ける回数が増えている。Googleフォームで申し込みを受けるとその後の集計も効率良く便利。▼認知症サポーター養成講座は、年度内の開催日程を一覧表にしたチラシを配布、加えて申込み近くになると町公式LINEから案内され、その案内に二次元コードで申込みができるようにしてあり、一気に参加申し込みが増えるという流れが定着している。また、毎回アンケートを実施し、講座受講後の活動にもつながる工夫をしている。▼ボランティア学びあい講座では、幅広い内容のプログラムを設定し、受講者からは「勉強になった、やってみようボランティア活動が見つかった」等の声が届いている。参画宿題おうえん自習室きんじろうルームでは、宿題をしに来る子どもの親に対してGoogleフォームを活用したアンケートを実施したところ、「日程がちょうどよい、ジュニアリーダーの皆さんとの楽しみの遊びの時間がとても良かった、また利用したい、家では宿題が進まないけど、きんじろうルームは宿題をするのにとっても良い、環境がいい」等の声が多数。また利用したいの方が8割。

9	高齢介護課	有	199	0	0	0	0	0	0	0	2	6	6	(介護予防) 広報の活用やSNSを活用した情報発信を行うことで定員割れは起きずに事業を実施することができた。 (認知症)寒川町立の中学3年生に認知症サポーター養成講座を実施できた。アンケートではほとんどのの方が「認知症の人や介護する人の気持ちが理解できた」との回答があった。
10	健康づくり課	有	60	0	0	1	1	0	0	0	10	16	0	講座や教室について、多くの住民の方に参加いただけた。今後も町民の健康的な生活につながるような講座や教室について、引き続き実施できるように事業内容等検討しながら進めていく。
11	産業振興課	有	5	0	0	0	0	0	0	0	1	4	4	労政問題懇話会にて、「資産形成セミナー:知って得するNISA・iDeCoの魅力」をテーマに労働講座を実施し、事務局としてサポートした。 寒川町ミニ面接会、広域就労事業(湘南合同就職面接会、企業と高校の情報交換会)を開催し、求職者の町内企業への就業支援を実施した。 商工会との共催で町内での新規創業者(創業後概ね2年未満)・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催した。
12	環境課	有	12	0	0	0	0	0	0	0	6	7	0	環境団体、広域で協力し学習講座等を実施。LINEでの周知や、各学校に向けチラシなどを配布し参加者を募り、参加者向上につながられた。
13	都市計画課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14	学校教育課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	教育施設給食課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16	学び推進課	有	10	0	0	1	1	0	0	0	8	8	4	講座申込方法でオンライン申請を行ったが、高齢者の参加が多い場合は利用が少なかった。
17	教育政策課	有	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4	2	考古学講座や遺跡発表会は町外参加者も多く、メールによる申込も多い。
18	教育政策課 (町民センター・ 公民館)	有	287	1	0	0	0	0	0	2	123	134	多数	北部公民館の短歌講座で保育付きで募集をしたが、希望者がいなかった。青少年対象や若い世代を対象とした事業は概ねオンライン申請を使用し、LINE配信による周知と併せて効果が出ている。
19	教育政策課 (総合図書館)	有	124	0	0	0	0	0	0	1	82	18	4	夏休みの子ども対象事業にオンライン申込を導入し、申込者数は増加したが、当日無断キャンセル者も見られた。
合 計			927	11	10	4	4	0	0	5	271	320	86	

【「第2次寒川 学びプラン」令和6年度事業報告の外部評価】

＜寒川町社会教育委員による意見＞

4.「第2次寒川 学びプラン」実施計画(令和3年度～令和6年度)事業実施状況

(1)各年度の目標達成状況

[評価方法] 事業実施課が事業実施状況の目標数値に対する実績値の割合により、次の区分で評価する。

- A: 目標数値に対して90%以上
- B: 目標数値に対して70%以上90%未満
- C: 目標数値に対して70%未満
- D: 事業を実施できなかった

[評価の結果]

基本目標	施策の方向	事業番号	事業数	年度	A	B	C	D
1 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる 生涯学習	1 自主的・自発的な学習の 支援	1～3	3	R3	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
				R4	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
				R5	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
				R6	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
	2 ライフステージに応じた学 習機会の充実	4～18	15	R3	2 事業 13.3 %	5 事業 33.3 %	7 事業 46.7 %	1 事業 6.7 %
				R4	8 事業 53.3 %	4 事業 26.7 %	2 事業 13.3 %	1 事業 6.7 %
				R5	12 事業 80 %	2 事業 13.3 %	1 事業 6.7 %	0 事業 0.0 %
				R6	12 事業 80.0 %	2 事業 13.3 %	1 事業 6.7 %	0 事業 0.0 %
	3 学習ニーズ・現代的課題 への対応	19～29	11	R3	6 事業 54.5 %	1 事業 9.1 %	3 事業 27.3 %	1 事業 9.1 %
				R4	10 事業 90.9 %	1 事業 9.1 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
				R5	9 事業 81.8 %	1 事業 9.1 %	1 事業 9.1 %	0 事業 0.0 %
				R6	8 事業 72.7 %	1 事業 9.1 %	2 事業 18.2 %	0 事業 0.0 %
	4 学習環境の充実	30～44	15	R3	6 事業 40.0 %	1 事業 6.7 %	7 事業 46.7 %	1 事業 6.7 %
				R4	8 事業 53.3 %	3 事業 20.0 %	3 事業 20.0 %	1 事業 6.7 %
				R5	8 事業 53.3 %	4 事業 26.7 %	2 事業 13.3 %	1 事業 6.7 %
				R6	7 事業 46.7 %	2 事業 13.3 %	5 事業 33.3 %	1 事業 6.7 %

基本目標	施策の方向	事業番号	事業数	年度	A	B	C	D	
2 「活かす」 学んだことを活かせる 生涯学習	1 学習成果を発表する機会 の充実	45~46	2	R3	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	1 事業 50.0 %	
				R4	1 事業 50.00 %	0 事業 0.0 %	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	
				R5	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	
				R6	1 事業 50.0 %	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	
	2 学習成果を地域で活かす 機会の充実	47~52	6	R3	0 事業 0.0 %	3 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	3 事業 50.0 %	
				R4	2 事業 33.3 %	1 事業 16.7 %	1 事業 16.7 %	2 事業 33.3 %	
				R5	1 事業 16.7 %	2 事業 33.3 %	1 事業 16.7 %	2 事業 33.3 %	
				R6	3 事業 50.0 %	2 事業 33.3 %	0 事業 0.0 %	1 事業 16.7 %	
	3 「つながる」 学びでつながる生涯学習	1 まちづくりにつながる学習 機会の充実	53~55	3	R3	1 事業 33.3 %	0 事業 0.0 %	2 事業 66.7 %	0 事業 0.0 %
					R4	3 事業 100 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0 %
R5					2 事業 66.7 %	1 事業 33.3 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	
R6					3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %	
2 まちづくりにつながる活動 の支援		56~65	10	R3	6 事業 60.1 %	1 事業 0.0 %	3 事業 30.0 %	0 事業 0.0 %	
				R4	7 事業 70.0 %	1 事業 10.0 %	2 事業 20.0 %	0 事業 0.0 %	
				R5	6 事業 60.0 %	1 事業 10.0 %	3 事業 30.0 %	0 事業 0.0 %	
				R6	5 事業 50.0 %	2 事業 20.0 %	3 事業 30.0 %	0 事業 0.0 %	
合 計			65	R3	25 事業 38.5 %	11 事業 16.9 %	22 事業 33.8 %	7 事業 10.8 %	
				R4	42 事業 64.6 %	10 事業 15.4 %	9 事業 13.8 %	4 事業 6.2 %	
				R5	42 事業 64.6 %	11 事業 16.9 %	9 事業 13.8 %	3 事業 4.6 %	
				R6	42 事業 64.6 %	10 事業 15.4 %	11 事業 16.9 %	2 事業 3.1 %	

(2) 実施計画期間(4年間)の目標達成度評価状況

[評価目的] 「第2次寒川 学びプラン」実施計画に掲げた各事業の進捗状況を把握し、実施計画期間(4年間)の評価を行うことにより、計画の着実な推進と実効性について総括し、引き続き、「寒川 学びプラン」の目標である「ともに学び・ともに支え合う 自己実現と協働のまち・さむかわ」の実現に向け、生涯学習振興を推進する。

[評価項目] 「第2次寒川 学びプラン」実施計画期間(令和3年度～令和6年度)の評価

[評価方法] 事業実施担当課が、実施計画期間(令和3年度～令和6年度)の目標達成度について次の区分で評価する。

【実施計画期間(4年間)の評価】

- A: 達成した
- B: 概ね達成した
- C: 達成できなかった

[評価の結果]

基本目標	施策の方向	事業番号	事業数	A	B	C
1 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる 生涯学習	1 自主的・自発的な学習の支援	1～3	3	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
	2 ライフステージに応じた学習機会の充実	4～18	15	11 事業 73.3 %	3 事業 20.0 %	1 事業 6.7 %
	3 学習ニーズ・現代的課題への対応	19～29	11	7 事業 63.6 %	3 事業 27.3 %	1 事業 9.1 %
	4 学習環境の充実	30～44	15	7 事業 46.7 %	3 事業 20.0 %	5 事業 33.3 %
2 「活かす」 学んだことを活かせる 生涯学習	1 学習成果を発表する機会の充実	45～46	2	1 事業 50.0 %	0 事業 0.0 %	1 事業 50.0 %
	2 学習成果を地域で活かす機会の充実	47～52	6	1 事業 16.7 %	3 事業 50.0 %	2 事業 33.3 %
3 「つながる」 学びでつながる生涯学習	1 まちづくりにつながる学習機会の充実	53～55	3	3 事業 100.0 %	0 事業 0.0 %	0 事業 0.0 %
	2 まちづくりにつながる活動の支援	56～65	10	2 事業 20.0 %	4 事業 40.0 %	4 事業 40.0 %
合 計			65	35 事業 53.8 %	16 事業 24.6 %	14 事業 21.5 %

(3) 実施計画期間における進行管理及び事業実績に係る外部評価(案)

<寒川町社会教育委員による意見>